京城日報

十月二十三日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇獨回答交附
＝瑞西公使の手許に＝

伯林來電に據れば獨逸は十九日夜ウイルソン大統領への回答を伯林駐剳瑞西公使の手許に交附せり右回答中には『獨逸は講和速成の爲め欣んで一時潛水艇戰政策を停止す可き』旨記しあり(アムステルダム電報)

◇回答文接手
＝正文未到著＝

米國々務省は米大統領宛獨逸回答の無線電信約文を受領せしも其正文は未だ到著せずと謂へり(華盛頓電報)

◇獨對米回答附議
＝結局不講和か＝

獨逸の米大統領に對する回答は二十二日の帝國議會に附議さるゝこと、なれる旨某所へ入電ありたり、議會は過般憲法改正後初めて開かるべきものにて從來皇帝に依りて開會されたるものに比すれば國民の意思を充分に表明するを得可く從つて前回の抽象的のものよりも遙かに具體化せるものとなる可く而して此度の回答の內容如何に依りては假令獨逸は講和を欲するも遂に講和するを得ざるの破目に陷る可きかと觀測さる(北京特電)

◇獨帝休戰決意期

巴里來電＝チユリツヒより傳へられたる最も信憑すべき筋よりの報道に依れば獨逸皇帝は九月中旬墺太利皇帝と會合協議を遂げたる結果休戰提議を爲さんとの意思を懷くに至り正式に休戰提議を爲すべく決意したるはマキシミリアン公の宰相就任後の事に屬し索遜其他各聯邦の代表者とも協議を遂げたる後に於て始めて是を爲したるものなりと(東京特電)

◇獨逸軍海陸撤退
潛水艇建造は誇張的聲言か

獨逸軍は漸次西部戰線より撤退しつゝある一方海上に於ても白耳義海岸オステンドに於ける潛水艇根據地を撤退せりとの事なるが是等の潛水艇は本國の根據地に引揚たるものなるべく從つて潛水艇に關しては未だ明かならざるも恐らくは同樣の方法を執るに至るべく若し本國に引揚ぐる能はざる場合は墺國カツタロ港に入るものと推測せらる尙ほ獨逸海軍當局は獨逸は今後潛水艇を更に增加すべしと聲明せる旨報道せらるゝも目下獨逸國內に於て潛水艇戰の活動は休戰交涉の準備として是を中止せんとする意志あるものと察せらる而して地中海方面に在る敵潛水艇に反對を唱ふる者少からず殊に窮乏せる其財政に於ては到底潛水艇の增加建造を許さざるべきを以て右は單に聯合國側に對し國內の餘裕を示さんが爲めの誇張的聲言に過ぎざるべしと米海軍通は語れり(東京特電)

◇チ軍窮境に瀕す
過激派獨墺軍の急追

某所著電＝過激派及獨墺俘虜はウオルガ全線に亘りてチエツク軍を壓破し更に七日サマラを攻略し急追の態度に出でたるを以てチ軍はキネルの線に於て敵軍の東進を阻止せんとしつゝあり一方齊多方面より友軍援助の目的を以て前進したるチ軍は第一線に參加し其一部はガイダ將軍指揮の下にエカテリンブルグ方面に於てテルム及びオサの敵軍に對抗せるもチ軍の軍容頗る振はず非常なる窮境に瀕せりと(東京特電)

◇チス民族宣言交附

華盛頓來電＝巴里に於て發表せられたるチエツク、スロヴアック民族に關する宣言書は此程米國大統領ウヰルソン氏に交附されたり(東京特電)

◇ペ市物情騷然

哈爾賓來電＝莫斯科よりの報道に依ればペトログラードは物情騷然たるものあり多數の集會は日每に催され過激派排斥運動盛んにして水兵並に社會革命黨左黨も是に參加居れり(東京特電)

◇オムスク政府移轉說

哈爾賓來電＝オムスク政府は哈爾賓に移轉し來れりとの說あり(東京特電)

◇首相邸晚餐會

原首相は二十二日午後教育會總裁以下を官邸に招待し晚餐會を催せり(東京特電)

◇銀行俱樂部員の各相招待

東京銀行俱樂部員は二十八日原首相、高橋藏相其他各大臣を招待し晚餐會を開き經濟上其他に就き意見の交換を爲す可しと(東京特電)

◇毛類輸出特許

外務省著電＝米國戰時通商局は十月七日附を以て洋毛、駱駝毛、アルパカ、カシミア及び同樣毛類の屑物の輸出は米國政府の需要に供する物品の原料たる場合に限り之れを特許す可き旨公表せり(東京特電)

◇砂糖輸出手續

米國以外の諸外國に對する砂糖の輸出に關しては華盛頓米國戰時通商局の特許を必要とせるが今回砂糖の前記外國向輸出に關しても右と同一の手續を必要とすることゝなれる旨布馬尼刺領事より來電ありたり(東京特電)

◇軍艦驅逐隊歸港

二十二日海軍省公表＝露領沿海州方面にありて作戰に從事中なりし軍艦『阿蘇』は舞鶴軍港に第五驅逐隊は橫須賀軍港に又第一驅逐隊以下豫備第二第五驅逐隊は孰れも廿二日舞鶴軍港に歸港せり(東京特電)

◎辭令

廿三日左の通り辭令ありたり(東京特電)

任朝鮮總督府警視(八等) 朝鮮總督府警部 松藤三郎
任朝鮮總督府技師(八等) 同技手 掛場貞吉

◎總督宣教師招待

長谷川總督は二十五日午後零時半總督官邸に外人宣教師ドクトル、ハリス氏を始め主なる宣教師並に同夫人を招待し午餐會を催すべし

◎總督實業家招待

長谷川總督は二十五日午後七時總督官邸に三井物產、關塚、廣波多野、底五郎の兩氏を始め主なる實業家數十氏を招待し晚餐會を催ふすべし

◎土地調查局減員

臨時土地調查局に於ける作業進捗の結果同局判任官百四十五名の過員を生じたるを以て定員三百九十五名を二百三十七名に改め大正七年十月二十五日より施行の旨總督府訓令を以て廿四日發布さるべし

◎鮮滿直通電話
某當局者の談

商業會議所聯合會より何れも鮮滿の直通電話の開設に付朝鮮遞信局に要望し居れるが右に付當局は曰く近年會議所が通信狀態の改善通信機關の增設等に付若しく注意を向け來り切に各種の要望を試みらるゝは予等の大に歡迎する所にして又鮮滿財界の發展を事實上に語るものと信ず鮮滿直通電話線の如きその必要は當局も疾に之れを認むるに吝ならざるも要するに經費問題を伴ふが故に輕々しく會議所の要望に應じ難き事情にあり更に朝鮮內には鮮滿直通話線架設上に必要の線路もあり勞々大正八年度の豫算にも其計上はなし居らざる狀態にあり但し兩地の接近發展より見るも何れ遠からざる內に架設は實現すべきか

◎終末の土地調查
十一月二日終了式擧＝官制廢止は同月上旬＝殘務の整理

朝鮮空前の大事業として明治四十三年より前後九箇年を費し二千餘萬圓の經費を支辨せし朝鮮の土地調查は大正三四の兩年を最盛季とし爾來業務の終了縮小に伴ひ職員の減免分課の廢止を續行して今日に至れるが最近高等土地調查委員會事務

▲地形圖の作製 並に地籍調查の若干事務を除けば各般の作業全く完了するに至れり現に職員の如き大正三四年の最高潮時には七千六七百名の多きを算したれども昨今は本官派員合計僅々五百名に過ぎず右の中百五十名は來る二十五日解職の辭令を交附する由に付剩す所三百餘名となる譯なるが事業の完了に伴ひ現臨時土地調查局の官制廢止は目下中央と交涉中にて未だ確定し居らざれども多分十一月上旬を出でざるべく官制廢止と同時に更に約百名の免官を見結局殘務の整理に當るべき局員は

▲二百名內外 となる模樣なり而して該殘務は高等土地調查委員會事務を除けば年末までには終了する豫定に付年末に最後の減員あり勞々大正八年に入れば殘務は高等土地調查委員會所屬約五十名のみに過ぎざる事ならん又高等土地調查委員會は土地調查の官制廢止後何れに屬すべきか明瞭ならざるも多分總督府內に置かるゝ事となるべく本業務は未整理作業も少からず剩し居ると各種の關係上その閉鎖は大正九年に入るべしと觀測さる

▲終了式 臨時土地調查局にては事業完了し官制廢止期も目睫の間に切迫せしを以て十一月二日景福宮內に於て大規模の土地調查終了記念式を擧行すべきが當日は鈴木土地調查局長の名により長谷川總督山縣政務總監を初め在鮮文武官民間有力者一千餘名を招待する豫定にて目下各般の準備を進めつゝありと

◎鮮銀の利上理由
吉田鮮銀局長談

▲事業界と利上 鮮內に於ける事業界の資金助長に就ては素より在來の方針に因るべきも一般企業上の收益增加は否むべからざる事實なり此趨勢は鮮內に於ける開戰後の事業計畫擴張資本及び拂込資本の增加の割合(大正三年末朝鮮に本店を有する會社の拂込資本は三千八百萬圓なりしも大正六年末には四千七百萬圓となり更に大正七年七月末には五千七百萬圓を算し鮮に支店を有する會社の拂込資本額は大正三年末九千萬圓なりしも大正七年末には二億九千九百八十萬圓に增加し居れり)に徵して明かなり故に鮮銀が此際金利の必要あるべし

一、一般に節制を加ふるため金利の引上をなす事
一、健實なる事業と否とを鑑別して放資をなす事
一、各人所得の增加による濫費を防ぐため貯蓄を助長する事

之れを要するに時局は帝國の出征となり歐洲戰局は時に講和提唱を見るも前途の推移は未だ容易に測るべからざるものあり勞資金は今日より之れが放資に節制を加へその能率を擧ぐるに注意を要すべし加ふるに時正に秋期資金の需要期に入り金融の逼迫を來さんとするに當り金利の引上を策するはその時機を得たるものにて是れ鮮銀の利上を決行せし理由なり

之れを見出すに苦しむ素より物價の調節は騰貴の原因たる貨物に對する消費力の增進運輸機關の不足舶來物資の缺乏必要品の輸出買占又は買惜しみ等の投機取引に對し適當の方策を講ずると共に金融上に於ては通貨關係を顧みる必要あり而して朝鮮に於ける通貨は開戰前乃ち大正三年七月末に於て硬貨銀行劵を合し二千三百萬圓なりしも本年七月には實に七千二百八十餘萬圓に達せりこハ素より最近滿洲支那方面に於ける朝鮮銀行劵の流通頗る多額に達せるものあるが故なるも之れを一千八九百萬圓と見て控除するも尙ほ五千四五百萬圓を算し開戰前に比し廿四五割の增加にして殖民地たる朝鮮近時の發展に鑑照するときは當然の結果なるべきも之れを物價指數增加割合の二〇割なるに比する時はその間幾分の考慮を加ふる必要あらん

▲財界調節 右の如き通貨の膨脹は(一)米價棉花その他の生產物の增進と企業の發興に伴ふ諸取引の頻繁(二)好景氣による一般購買力消費力の增大に基づく資金需要の增加(三)各人個人の物價賃金の騰貴等主因にして今日以上增加せる事を放任するに於て財界の健全を期する所以に非ざるも稍もすると

◎西伯利の窮狀
物資缺乏甚し

哈爾賓發刊東清鐵道機關紙ヱストニツク、マンジユリーが西伯利亞內地特派通信員より接到の九月二十六日附オムスク市發通信によれば西伯利亞內地に於ける物資缺乏の概況は左の如し(西伯利亞經濟援助委員會發表)—東京

西比利を通觀して余は數百萬の住民が現時何故に極度に對し希望を絕し且つ恐怖の念を抱きつゝあるやを了解したり物資の缺乏は其極度に達し西伯利亞は今や將に殘り一枚のシャツ衣服殘り一足の靴を使用しつゝある現狀にして之れを修理せんとせば戰前の物を購入し得たるが如き價額を要す蓋し糸一卷オムスクに於て七留の價を唱ふる有樣なれば五人より成る家族は食費のみにても一日平均廿留を要すべく下級鐵道從業員等の言に據れば戰前每月卅留を以て生活し得たる者も今日は三百留に比し良好なりきとの事なるが右は事實に然るが如く小麥の收穫も終りて目下は幾多の食糧の供給を見つゝあるも白麵麭を得る能はず最近地方に走ることを唯一にして如何なる價を提供するも

▲住民疲勞衰弱 し窮乏の態あり而も輸送機關は又非常なる困難に遭遇しつゝありたり已に十數個列車は殆んど各驛に停車し平原を旅行する者は十日を費すも猶且つ目的地に達せず物資の如き牛乳一瓶(我四合)六十哥以上バタは四留以上等の價を唱へ幾多の通貨を以てしても生活し得ざる狀態となり之れを以て生活は甚しく困難なるを以て一般の住民は疲勞衰弱の極に達したり

貨物の輸送は殆んど全く停止し居るが故に鐵道の運賃は到底普通の價を以てせる能はず而して各種物資の缺乏は之が爲め益々甚しく尙ほ輸送に依りて得らるべき物資も亦騰貴を免れずして西比利亞の如く工業中心地は西伯利亞の戰前に於ける物資の唯一の供給所たりし西部露西亞との連絡を絕たれ殆んど全く戰前の狀態を維持し得ず

▲必要なる物資 を西比利亞に供給すべき事業は之れを行はるゝ時は利益少なからざるも斯る事業は如何にして可能なるや目下の狀態にては米國及日本等より供給するの外なく……(後略)

▲向且つ不十分 なる西伯利亞は常に窮乏に苦しみつゝあり而して西伯利亞住民の大部分は農民にして其需要物資は主として衣服類靴類農具等なるが是等の供給は甚だ不足なり

◎濟南鮮銀開業

朝鮮銀行濟南支店は來る十五日より開業すべく目下開設準備中なり

◎磁器會社減資

平安南道大同郡に本店を有する平壤磁器製造株式會社にては今回事業整理の結果現在の資本金六萬圓を半額の三萬圓に縮少變更すべく豫て出願中なりしが十月十九日附を以て許可の指令ありたり

◎視察團出發

滿洲學事視察團一行は豫定の如く二十三日午前九時四十分團長小田總督府編輯課長引率の下に新義州に向け出發せり

◎平野菅野兩氏

專賣局事業課長平野亮平氏並に東亞煙草社長菅野盛次郎氏は鮮支視察の爲め來る二十五日頃入京の豫定なり

◎嘉納副總裁動靜

二十二日下仁せし鮮銀副總裁嘉納德三郞氏は府廳並に稅關を歷訪の後仁川築港を視察し永井所長案內にて詳細に視察し仁川支店の事務を視察夜は仁川俱樂部に於ける新舊支店長披露宴に出席即夜歸京せりと

◎支那視察團通過

支那視察團一行十名は二十三日朝安東縣より平壤を經て更に京城を通過內地に向ふ可し

◎加藤社長西鮮行

本社々長加藤房藏氏は西鮮方面視察の

◎馬新兩地殖銀

馬山新義州兩朝鮮殖產銀行出張所は殖銀行現支店に行務を擧けて讓渡する事となり鮮銀にては殖銀の準備終了次第何時にても引繼ぎの準備成れる由なるも殖銀開業後日猶淺くして本店にては高級職員の任命さへ未だ發し居らざる混雜狀態に付その兩店の受け繼ぎは多分大正八年に入りての事なるべきかと說有力なり

◎殖銀課長詮衡

朝鮮殖產銀行本店課長等はその任命遲延し未だ發表なきが此の間の事情を聞くに十二課長中營通係(?)秘書課技術課經理課等の各課長は內定し居り大々候補者にて事務を執り居る由なれど他の各課は未だ詮衡終らず地方農銀の前支配人並に內地方面に適材を物色中なるとの何分刻下の財界は繁忙を極め人手不足の折柄とて容易に相當の人物を得難く勞遲延を重ね居れるが決定せし課長のみにても近く發表するに至るべしと

◎電報發著整調

近日內地朝鮮共天候快晴連續する爲め通信狀態頗る良好となり京城と東京大阪間の如きその發著に至りしを以て也信線の障碍殆んどなく二日以上を要する事は殆んどなきに至れり尙ほ通數は鮮滿財界の繁忙を迎ふる事となりたるため漸增の狀態にあれど天候激變して電線等の障碍を起さゞる限り甚だしき延著を見る事はなかるべしと

人事消息

◆藤原正文氏(安通銀行顧問) 北京へ赴任の途二十四日夜入京の豫定
◆片山鮮銀理事 片山鮮銀理事はインフルエンザに犯され廿二日より引籠れり
◆和田一郞氏(土地調查局總務課長) インフルエンザにて二十一日より引籠れり
◆十時彌次郞氏(總督府農務課技師) 二十三日附京畿道管內へ出張を命ぜらる
◆滿洲農學校職員生徒廿三名 廿三日午前八時四十分の列車にて長春へ
◆鳥致院公立普通學校職員生徒廿六名 廿三日午前九時五分の列車にて仁川へ
◆佐賀縣立商業學校職員生徒卅名 同上
◆中村檢事長(覆審法院) 廿三日午前天安へ

茶前酒後

◆獨逸は、未だ餘力を有する時期に於て、講和を成立せしめんとしつゝある迄の、獨逸の再び立つべからざる大打擊を加へたる後に於て、聯合國は、講和を成立すべしと云ふよりも、降伏せしむべしと云ふにあるもの、如く、兩者の間に於ける多大の距離を有する者の如し。

◆換言せば、獨逸は、談判によりて平和を招來せんとし、聯合國は戰勝によりて、平和を誘引せんとするにあり。戰爭に於いて、戰はずして他の兵を屈するは、善の善なるものなるが故に、最早獨逸に屈服の狀ある以上は、戰爭を續けずして、其目的を達するに、優れる事なしと云ふ議論も、蓋し又一理無しとせざる也。

◆然れども聯合國は、獨逸が再び世界の平和を、脅かすの掛念無くなりしとするも、未だ容易に講和に首肯するは、敢て贊成せざるべし。何となれば獨逸が、ナポレオン三世を擒にし、アルサス、ローレンの二州を割取し、五十億法の償金を課して、佛國の再起つ能はざるを期したるに、不拘、佛國は、心私かに、雪辱を期し、數年後にして、佛國は直ちに回復し來り、更に劍を磨いて、睥睨するに至りしは、流石のビスマークをして、狼狽せしめしに非ずや。

◆實例既に此の如し、獨逸をして半殺しの態に於て放置せば、獨逸は幾年ならずして、再び中歐の天地に、其の羽翼を張るべきは火を視るよりも明か也。之れ聯合國が戰勝によりて平和を得んとする事實の目的の存する處なるべく、要するに獨逸の講和成立の希望と聯合國の命ずるが儘の條件ならずんば、遂に承認せられざるべし。

◆況んや過去五十年間、獨逸の小學校は、戰爭の教養所たりし也。即ち僅少の科學を混じへたる、國民體育所にて、之に依り國民全部を、下士官仕立となしたり。故に縱ひ今日平和の締結を見るも、獨逸人は永久に戰ふべく、運命附けられたる者なるに於てをや。

◎活版印刷機械賣却
中古四六版八頁紙取付ロール手廻シ印刷機械一(中島製)壹臺
中古菊版四頁足踏紙取付印刷機械 壹臺
新活字 目下品揃居に付希望者は至急申込ありたし特に御引割御相談に應じ候
京城明治町二丁目四八(電話三〇四〇番)
竹內活版製造所

魔法瓶
御旅行に 御遠足に
これほど便利な物は御座いませんどんなに熱くてもどんなに冷くても二十四時間は大丈夫保つと言ふ便利重寶なものです
圓筒形 三合入金一圓九十錢 四合入金二圓三十錢 五合入金三圓
水筒形 三合入金二圓三十錢 四合入金二圓六十錢 送料鮮內二十四錢 外四十五錢
京城府太平通り 合資會社京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

旅行用具一切
毛布各種 專賣品柳製鞄 東京製鞄各種 國旗附屬品共 魔法瓶及中瓶取替
鞄製造販賣 高木旅行用具店 京城本町一丁目電話一三四番

胃腸病とタラコン
胃腸の病は只其の時限りの消化を助け無理に胃液の分泌を促し又は胃酸を中和するだけですが此タラコンは強壯な胃腸の弱い方を好くし本統に健全な身體となります 本品は胃腸病に苦しむ方は是非御試し下さい
本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園(電話小石川二九五六 振替東京二〇〇三)

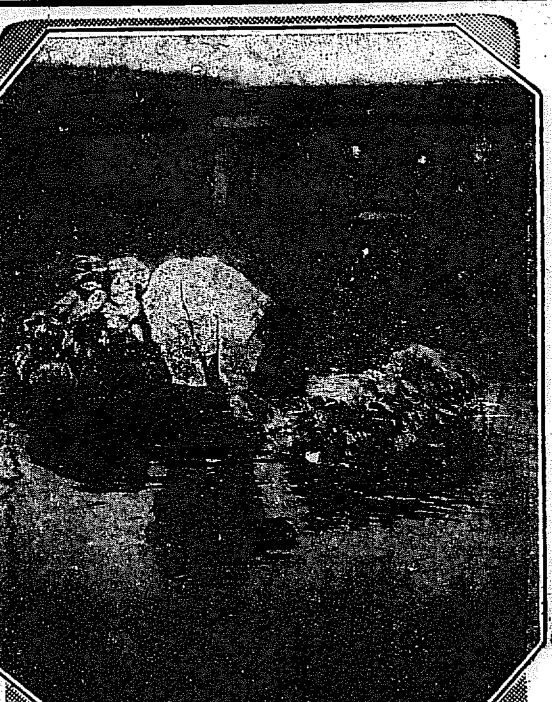
內科 眼科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通(電車停留所前)
附屬 京城肛門病痔疾療院
入院隨意 電話二四四三番 振替京城三三八番
肛門病痔疾特種注射療法解說書入用の方郵券十二錢要
院長 本田 醫院

金剛山寫眞帖
定價金貳圓五拾錢 送料鮮內十二錢 鮮外三十錢
金剛一萬二千峰の絕勝中其の精を拔き粹を選びたる鮮麗優美なる寫眞版約九十面をアートペーパーに印刷して一卷の美事なる寫眞帖となしたるものなり故に觀る者は居乍らにして所謂金剛山裡の崇嚴なる奇勝及び古雅なる殿堂に接するを得べくまた近時交通の便開けしを以て兩三日の閑を金剛山に求めんとする人の爲めには絕好無二の東道者たるべし殊に本布製表紙の古雅なる和裝に成り贈答等に備ふるには極めて適當なる畫帖なり
發賣所 京城太平通 京城日報代理部 振替京城三〇〇

八角鋼、黑鉛用金鋼、其他鑄物製作 ストーブ各種建築金物
地方御注文は迅速に御便宜相計可申上候 商報御入用の節は御一報被下候はば直に御送附可申上候
直輸入商 京城本町一丁目 佐野彥藏商店 電話一六三番、振替京城二一〇番

時間表
大正七年七月一日改正現行
[illegible]

◇菜つ葉洗ひ



○平和は來ても 物價は下らぬ
一年や二年は現狀維持か 但し輸入品だけは例外!!!

愈々講和になつたら戰爭の爲に昂騰した物價が自然下るであらうと云はれて居るが果して何うか某實業家は曰く『今日の諸物價は戰前百圓のものが二百八十圓位の平均に騰貴して居るので約

◆二十八割 てふ狂騰である然るに一度平和が到着した時之が果して下落するかと云ふに先づ諸外國が内政充實を第一歩として海外發展を其次にするなどの事は全く往時の考へで恐らく

◆内外同時 に活躍を開始して一時半時なりとも有利な地歩を占めようと努めるに相違ないから輸入品は主として低落を見るだらうけれども通常日用品は一般需用の增大が著しいのと

◆供給不足 な爲め少くとも一年や二年は現狀と左程の變化を見まい』

○困った貸家の拂底
星野少將も列車の中に宿泊 妙な日本兵と青白軍の對照

過激派が逃げた後の知多市には第三師團を始めセミヨノフ軍や青白軍(西伯利政府軍)などが同時に入り込む、避難して居た市民が歸還する、軍隊と共に御用商人が乘込んで來るなどのために、營舍を探すにも事務所を借りるにも殆んど貸家がない一時は早いもの勝ちの

▽大競爭こ なつたので家賃はぐん〳〵騰り、米景氣を見越して家屋を貸さない者が多いので散々手を焼かされた程であるから、何處へ行つても押すな〳〵の大混雜である、三師團司令部は既報の如く知多市唯一の大建築たるフワトラの三階を占領したが二階には青白軍が居つて同じ建で薪も割れば飯も炊き、日本の衛兵が堂々たる表玄關で眼を光らして居るこ、雜貨屋の小僧が出入する通用門にはうす穢い青白軍の衛兵が立つてるて

▽女の顏を 見るこ鼠啼きかなにかをやつてるる、其の對照が頗る妙なので噴き出さずには居られない、現司令部から二階を明け渡すやう要求して居るが何日過ぎても明けさうにもないので、三階では床を蹴つて青白軍を嘲味噌に言つてる、二階の青白軍でも十種の軍服を着けさせて居るのだ、色々の働者や破戸漢に十人から、威勢の宜い日本兵と同じ建物の中に住ひにくくはならしいがさりこて何處へ行くにも家がない、双方共慈元

▽閉口の體 である、セミヨノフ軍でも統領はセレクトホテルの一室で食住をしたり軍務を統し居るが幕僚其他は第二知多市の停車場の列車中に泊つてゐる浦鹽から來た星野少將も旅館に間がないので列車中に泊り、其他日本の將校も同樣で昨今の知多市は右を向いても左を向いても家がないので困つてゐる(早川從軍記者)

○白耆我軍營に 馬賊襲來

るこ甚しく馬賊の如き我軍隊の宿舍に白晝大膽にも襲來せる事實あり斯るこさは前例の無き事にて我威嚴……

口東宮殿下も 御慰問使
近日黑龍州方面へ御差遣!

皇太子殿下には曩に我が出動艦隊の狀況視察に關し御慰問として及川東宮武官を差遣せられたるが目下沿海州黑龍州方面に於ける派遣軍御慰問のため壬生東宮武官を差遣の御沙汰あり同武官は恩賜品を携帶し近日東京出發同地に向ふ由(東京)

○出征軍の 食物は
内地より上等

西伯利出征軍の食物は出來るだけ西伯利の物品を用ひてゐる彼の地には小麥粉、野菜、牛肉は澤山あるが定めた品がない所は内地から送つてゐる出征兵一人の

▲食料 は精米四合五勺に精麥一合九勺を加へ副食物は肉類では罐詰四十匁骨付五十匁牛骨付生肉四十匁乾物三十匁鷄卵四十匁是等の内適宜の一種こ他に野菜類こして乾物三十匁生物百二十匁漬物梅干十匁福神漬十匁の内一種及び鹽漬十五匁糠漬十五匁の一種を採ることになつてゐる、等を調味する品は醬油エキス五匁食鹽二匁粉醬味噌五匁砂糖三匁茶一匁醬油四勺味噌二十匁こいふ

▲配合 である戰地に於て大切なものは野菜で若し野菜の供給が不足すると壞血病に罹る乾物類では椎茸、干瓢、切干し、大根、わかめ、氷豆腐、麩等である其他月四回清酒三合、固麵麭、ビール、キャラメル、氷砂糖、朝鮮飴、粟おこし、煙草等を分配してゐるが概して内地より旨い物を喰つてゐるさうだ

◇大塊遮相の頭
こ明石總督の黑子

野田週相、明石總督、神尾大將等が二十日相州鎌倉の花山店に登寺、管長釋宗演禪師を訪れた、恰も正午頃であつたが一同山房に導かれ香堂前で記念の撮影をなす時野田週相が什うしても帽子を脫がぬ、傍に居た神尾大將が『野田さん帽子を脫つたら什うぢやな……』週相『アツハツハ……、この帽子だすタイ、アツハ……』と、いやな眼つきで神尾將軍と宗禪師を見くらべ乍ら怨めしげに徐々と脫げば太陽の光が反射して電光の如くに曲折し四側の寫眞機のレンズに映じる、眞面目な神尾將軍も此時は笑止さを忍んで『ヤア、○さん、さんだ事なお勸めして恐縮々々』斯くて兼饗後寄席こなつた周山房で空華道人が明石總督にツックリの達磨大師の畫像を揮毫すると總督は『これは私によく似てるが、肝腎要の鼻の黑子が無いわい』さて自から筆を取つて鼻頭に黑子を入れ喝采して曰く『畫眼龍衆生相醒覺』と墨痕鮮かに揮毫し野田週相も赤裸々の禪なものして雅味津々たる一日を過した(東京)

○第三師團の先鋒 貝加爾湖畔に達す
猛烈なる貨車爭奪戰

我第三師團の先發隊は既に貝加爾湖畔の○○○○○○○○に達し第○十旅團も又チタを通過して同方面に向ひつゝあるが市濃線の貨車不足のため軍隊輸送遲々として捗どらず全師團が夫々目的地に到達するまでに

少く共本月末頃までの日子を要すべき見込みなり貨車不足の原因はセミヨノフ軍を始め各方面に於て專用し居るこチタ方面より多數の車輛を途還するも途中に於て

遺憾に堪へざる某國軍 て使用さるゝを以て哈爾賓到着までには著しく非效を減じ居るの有樣なれば我軍の行動意の如くならず之がために各方面に於て

猛烈なる車輛の爭奪戰行は れつゝあるもの如く最近に於て滿洲里に於て某國軍が無謀の言ひ懸りをなし我軍を手古摺らしたりこの噂あり今に始まりたる事にはあらねど某國軍が事毎に反感を挾むが如き行動を取るには某市を始め○○○○軍も大いに憤慨し居れり(早川從軍記者報)

○英國にも飛行將校
派遣されん

所澤陸軍航空隊にては曩に飛行將校を伊太利に派遣したが更に英國へも派遣する事となり目下關係方面に交渉中なれば近く具體的決定の上發表の豫定であるこ

○賣行きの好い 職員錄

て居るが職員錄は賣行きよく目下再販中である是れに就て池田局長は語る『職員錄の賣行きは非常な……直ちに賣切目下二千三百許り再版……だ低な事は印刷局創まつて無い……附錄にしたのも大分評判が好さうだが此次には……官報は議會の速記錄程の一……

○チタ地方 既に雪
鐵騎縱横に飛ぶ

十七日夜來寒さ頓に加はり零下七度こなれり朔風砂塵を捲いて灰色の雲漠々たり斯くて西伯利は冬に入らんこす、十八日降雪あり夜に入るやチタ市全市街は白皚々たる一面の銀世界こなり、雪中日本の鐵騎縱横に飛びて云ふばかりなき壯觀を呈せり

○裝甲列車を鹵獲
我騎兵第七聯隊ハ殊勳

グウリヤよりの確報に依れば騎兵第七聯隊は九月末日、マ・カールに向け進行中敵の裝甲列車こ交戰之を擊退し露兵即死四名を出し敵を追擊してオンドイ驛に迫り其甲車二臺を鹵獲せり敵は白旗を揭げて服せり又其主力はルフロ驛に迫擊し裝甲車、野砲、機關銃其他鹵獲品無數、捕虜四百名を收め去る二日ダウリヤに到着せり

○原信子發狂
事實こすれば歌劇界の一打擊!!!

歌劇界では兎も角第一人者こ唄はれて居る原信子は、同じローシーの門下として一つ釜の飯を食つた清水金太郎夫妻こ氷炭相容れぬ間柄であつたが今度久方振りに兩者の提手成り、愈々來る廿五日から村者の座員百名からの大連で劇場へ和解興行の幕を明ける事になつて居た所意外にも其大立物の原信子は兩三日來精神に異狀を呈しあらぬ事のみ口走るやうになつたこ云ふ

○戰地の軍人が貯金したり
◇郵便爲替で送金したり

下關の郵便貯金支局では戰爭のある度に軍人の郵便貯金を取扱つて居る日清戰爭以來北淸事變、日露、獨逸こ今回こ丁度五回目だが日露の役は範圍が廣かつた丈け其金額も隨つて多かつた今回も餘り小さくはないらしく九月二十日の受け附から十月二十一日迄の計數は二萬二千圓で其人員も九百六十七人あるが又爲替の取扱ひは千六百口に金額が七萬三千圓こ云ふ高になつて居るが兎も角今後の增減は戰局の如何によるが萬里の異郷に於て貯蓄こ云ふ念を失はないのは美風である

○赤ん坊は……春生れが 一番壯健
著物は薄著 親の歳は父卅三母廿七と云ふ所

赤ん坊展覽會の元祖として有名な東京府下巣鴨の帝國小學校、同校長は第六回赤ん坊展覽會の成績について斯う語つた

『二百五十人中の當選者六十二人に就て其の

▲出生時期 を統計にとりますると、春生れ卅一、夏が十五、秋が四、冬が十二こいふ小數になりますから、春生れが最も勝れて居るこいふ譯です、親の年齡で見ると父の平均年齡は卅三歲二ケ月、母は廿七歲で、女親の平均體重は十三貫四百七十五匁です、又保育の統計を取つて見ると、六十二人共母親は姙娠中

▲平素の通り 仕事をして居た、夫れから乳は皆母乳で育てた、抱つ子したのは、一ケ月目からしたこいふのが二十五人、二ケ月目からこいふのが八人あつたです、又乳を吐いた者は一人もないさうです、著物は薄著させたこいふのが多く、又室内に居る方が長いこいふのが多い

▲乳のよく 出るやうに採つた食物は野菜が第一で、肉、餅、魚類、牛乳、味噌汁、饂飩こいふ順です、又六十二人中第一子が廿人で之が最も多數であつた、而して月足らずの流産などは殆ど無い、要するに父母共に健康體で、殊に相當年齡に達した者で、妊娠後も餘り日常の生活狀態を換へないといふのが好成績であります

○惡性感冒に罹つたら
早速醫者に懸ること 生兵法は最も危險!!!
▲森安博士談▼

目下各地に蔓延しつゝある流行性感冒の應急手當に就き總督府醫院森安博士は曰く、今回の風邪は猛烈に各地を襲つて居るらしい猶本院などでも醫師數名看護婦十數名が冒されて弱つて居る病菌に就ては目下

▽檢鏡中 であるが流行性感冒としては割合に輕いらしい感冒に犯された場合は可成く安靜にして頭を氷で冷やし早速醫師に懸るが一番得策である素人手當で買藥などして居る中に段々重くなる事が往々あるよく注意すべき事だ又

▽病後は 一層の注意を要する今回の感冒は熱が高い代りに早く熱が退いたからと云つて決して全快したのではない熱が退いてから先づ三四日間は身の安靜を保ち成可く外出せぬが宜い然なくば再發する事があるのみならず永い氣管支加答兒に罹る事が多い

有馬醫官談

尚ほ内科長有馬醫學士は語る今度の流行性感冒は先づ最初咽喉を襲ひそれから漸次氣管に下つてゆくらしい餘病こしては氣管支加多留肺炎、盲腸炎等を發した者がある此病院に來る連中は大體此餘病者で一日平均廿四五名にも達して居る云々

▽子供に多い譯は斯うだ
河野醫官談

又河野小兒科長は曰く今回の感冒が學校生徒に多いのは團體的集合の場合が多いからだ然し之を豫防するには成可く人込の場所へ出さぬ事こ風呂などに度々入れたりして風を引く機會を多く造らぬ事が肝腎だ

▽肺炎や盲腸炎を併發

○ゼア河湖航隊の記
分捕り砲艦に打ち乘りつゝ、水雷布設の噂に決死隊組織
◇苦心もしたが愉快だつたこ堀少佐語る

從軍記者 金谷眞

黑龍洲ゼアの合流附近を攻擊して敗殘の敵を掃蕩したる堀八郎少佐(小倉步兵第一大隊長)十月上旬ブラゴエに歸つた、お土産ばなしに曰く『わが大隊はいの一番に汽船に上陸しながらクラエフスキー附近の戰鬪は他所の隊にこられ兵士は何れもがつかりしてゐた、然るに九月四日浦鹽を出發してハバロフスクに著、直ちに黑龍江湖航の野戰支隊の主力こなつたのは聊か

★溜飮を下 げた次第である、ブラゴエからは更に奧地ゼア河上流に遁走したる敵を追うたのは愉快であつた、出發は九月の廿一日、わが湖航隊は分捕砲艦二隻、汽船二隻それに曳船一隻の合計五隻で編成された、途中九月廿三日にはアレキセーフスク附近で敵の砲艦三隻こ汽船十四隻を捕獲した、その他步兵第四十七聯隊こ協力して

★大砲拾門 機關銃十四捕獲し且つ無數の糧秣も分捕した、當時は多少敵この衝突もあつてクラエフスキーの溜飮は些か下つた、その當時第十二師團の山田支隊主力はアレキセーフスクから鐵道に沿うて前進してゐたのでわがゼア湖航隊こは並進の形こなつてゐた、その間アレキセーフスクこゼアこの間では

★敵の水雷 が沈設してあるこいふので一隻の汽船は犧牲こなる爲め決死隊を募つたが幸ひに何のこともなくて幸せであつた、湖航の途中河水は日々に減つて行つた、加ふるに朝は必ず濃霧が襲ひ夜は暗夜で方向がされぬ、而には豫て標識燈の設備もあるが、目下は

★石油拂底 でこても燈火ごころの騷ぎでない、そんな次第で汽船こは言へ隨分相當な苦勞もあつたがその間山田旅團がゼアに進入したのでわが大隊は引返して來た、ゼアの流れは黑龍江の本流に比し風光が非常に優れてゐる途中河幅五十米突位で耶馬溪を十倍したやうな大觀もあり、それに白樺や楡の黃葉が美事であつた然るに下航の時はわずか數日間は木の葉は落ちつくし甲板の上には

★氷が張る やうな氣候こなつた敵はゼア河の上流を溯り更にスタノボイ山脈を越ねてヤクーツク方面に逃げたらしい、それに西方後貝加爾方面からは第七師團がわが第十二師團こ兩々合したからこれで此の方面の戰爭も一段落こいふてよからう……』(十月五日記)

◇ゼア湖航の勇士 堀八郎少佐

○傳染病
今年は非常に尠かつた
(府衞生係調査)

本年京城、龍山方面に於ける傳染病狀況(流行性感冒を除く)を聞くに例年に比し其の發生數極めて僅少にして經過至つて良好なるもの如く此の分にては最早本年は大なる傳染病の發生を見ずして經過するを得んとの見込なるもの如し今京城府衞生係の調査によれば本月十日より二十一日に至る傳染病患者は次の如く一日平均二名強の割合なり

▲十日 本町署管内腸チブス一名 ▲十一日 鐘路署管内赤痢一名 ▲十二日 本町署管内赤痢一名パラチブス一名△鐘路署管内腸チブス二名△龍山分隊管内赤痢二名腸チブス二名 ▲十三日 本町署管内赤痢一名パラチブス一名 ▲十五日 本町署管内腸チブス一名 ▲十六日 本町署管内赤痢二名腸チブス一名△鐘路署管内腸チブス一名パラチブス一名△龍山分隊管内腸チブス一名 ▲十九日 本町署管内腸チブス一名 ▲二十日 本町署管内腸チブス一名△鐘路署管内パラチブス一名 ▲廿一日 本町署管内ヂフテリア一名

○大連怪火事件
嫌疑者十數名檢擧

本春以來十一回怪火を發し一時全く迷宮に入りたる大連埠頭の大豆放火事件は其後警察に於て主力を盡して搜索の結果漸く端緒に到りて手掛りを得十八日大連警察にては十數名の日支人嫌疑者を檢擧取調中にして九分九厘までは自信あるもの、如く或は今後取調べに從ひ意外の新事實を見るやも知れずといふ若し右嫌疑者の中より眞正の犯人を得ば又自から出火の原因も判明し目下懸案中の保險問題も解決すべしこいふ

○模範店員自殺
(京城)

本町二丁目廿三番地佐野金物店雇佐々木弘二(二三)は廿一日午後六時頃同店裏に於て荷造り用の牛刀を以て咽喉部及び胃部を貫き自殺せり屍體は檢死の上主人佐野に引渡されたるが弘二は同店にては模範店員として主人の氣受けもよく格別之こて失策の廉もなければ自殺の原因定かならざるも同人は愛症に悩み居たる矢先例の流行感冒に罹り京城病院にて治療を受け居る中肺炎を併發したるを强く苦にし遂に厭世の念を起し自殺したるものならんこ

○不正漁業捕縛

水產組合聯合會規則は去月下旬木浦より羅州方面へ掛けて出漁中なりし漁船は從來より漁季節に附近漁場を荒し廻りて正業者の迷惑一方ならざりしより今回も……蔚山郡江東面亭子里六一……に於て十七日午前中に同所住居金……外四名一隻ダイナマイト六本……

◇家庭の讀物

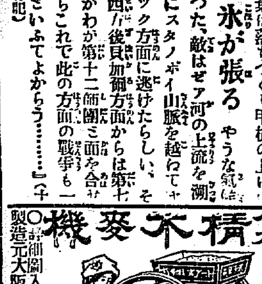
演藝案内

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 十月十八日より特撰三大映畫 △探偵活劇 不思議の鐵輪 ◎正活劇 黑き雨 全五卷

黃金館 ◎新派悲劇 灰色の幽靈 ◎泣かぬ女 ◎めぐれる階段 ◎文珠九助

大正館 櫻井町 電話八七三 十月十八日より新篇 △米國キーストン會社傑作 アンブローズ渇望 ◎探偵活劇 慧眼 ◎舊劇 海野兄弟

浪花館 明治町二丁目



カベ精米打麥機 製造元大阪西區市岡町 東亞物產社

子宮病血の道と神痂湯リウマチスに悩む人は

彼是 遂無

眞に能く効く良藥神痂湯を試みよ現に百方手を盡すも効なき難症の血の道や多年不治のヒステリーや、數年難治の子宮病を始め固疾の疝氣リウマチス神經痛の方々が神痂湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し實例も存一般の閲覧に供す、を逐る、若不幸にも是等の病に悩む人あらば

◎こんな徴候 胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等のつり、腫れ、しびれ又は痛み…… 各藥店にあり

本舖 名古屋市東區 荒川長太郎

仁川 米

天氣 晴

大懸賞募集締切

本社の最初の試みたりし讀者大懸賞文藝募集は愈々廿二日(二十日付印ある者を有効とせしより)を以て締切をなせしが募集期間の短かりしに拘らず非常の好成績を示せるは畢竟するに之れ讀者諸君が高尚なる文藝趣味を有せらるゝ事を證明するものに他ならず今其應募種類數を擧ぐれば左の如し

論文五十作、漢詩五百吟、俳句四百句、川柳三百句、和歌三百五十咏、小品文三百七十作、短篇小説七十作、情歌二百八十作、一口噺二百三十作、寫眞三十枚

にて之が發表は十一月十一日の本紙上より連載すべし而して作品は二十二日夫れ〳〵各選者に渡濟となれり

京城日報社

◎大邱の貿易

大邱關税出張所調

九月中の大邱貿易額は輸移出二萬零六百廿一圓、輸移入卅三萬零五百廿九圓合計卅五萬一千二百圓にして前月同月に比し輸移出二萬五千五百六十六圓、輸移入六萬四千七百十一圓の何れも減退を告げたり、輸移出にありては果實及び椋子の出荷旺盛なりしと小麥大豆牛皮等頗る不振に陷り輸移入にありては本月中約二週間に亘り特別輸送の影響を受け大貨物の輸送に三千六百七十一圓、小荷物に一萬一千二百七圓の入增を示したるも小麥粉を除き砂糖、綿絲布、軌條及び同附屬品其他一般大貨物は概ね入荷不振なりき左に重要品に就き概況を記さん

輸移出重要品

▼果實及核子　輸移出額十三萬六百廿斤一萬三千四百四十七圓にして前年同月に比し七萬五千三百四斤九千七百〇三圓の增加なり右は主として苹果にして内地品薄の爲め小量ながら遠く東京迄も送付せらるゝの狀況を呈せり、相場は諸物價の昂騰と貯藏に耐ふる關係に於て騰して紅玉種一箱(三貫入)平均二圓七十錢にて取引されたり

輸移入重要品

▼小麥粉　輸移入額八萬八千八百三十八斤九千六百六十四圓にして前年四月は小口五十斤四圓に過ぎざりしも當節相當の賣行きを示したる品薄と諸和氣構へに月初め鑑組五圓三十錢、紅龍五圓廿錢のもの月末十錢安となれり

▼砂糖　輸移入額六萬四千四百六十三斤、七千七百五十八圓にして前年同月に比し二萬三千四百六十一斤二千二百八十八圓の減退なり是れ前年同月は荷閥へ品の入荷多かりしに依るものにして本月は瓜哇糖の昂騰と輸送困難の爲め市價月初めヒシJ十四圓六十錢S F十三圓八十錢のもの月末各品廿錢方の昂騰となれり

▼清酒　移入額五千二百廿五石二千二百七十一圓にして前年四月に比し數量千七百廿二石を減じたるも價格昂騰の爲め百廿圓を增進せり是れ内地酒割高の爲め地酒の賣行き良好となれるに因るものにして市價白鶴四十圓、澤の鶴三十七圓なり

▼綿織糸　移入額二萬九千二百五十五斤、二萬七千八百四十二圓にして前年同月に比し三萬三千八百九十五斤、二萬二千八百二十一圓の激減なり是れ主として時局の影響に依り輸送困難なりし爲め當地に入荷を見るべきものにして内地及び釜山方面に於て轉賣せられたるもの多數に上りしに因る、米組價小波瀾を演ぜしも品薄を虞れ爲に昂騰を辿り平均市價を示せば

種類	上旬	下旬
五星十六手	二〇〇圓	二一〇圓
平十手	一九四圓	二〇五圓

◎奉天雜貨趨勢　同業者の奮勵を要す

奉天に於ける雜貨等は漸次其勢力を支那商人に蠶食されて居る事は明かであつて目下直接大阪に出張し各仕入れをして居る者でも其數が甚だ尠くない

▲一萬以上の邦人を有し而も大奉天を以て自ら任じて居る當地の商勢力が斯くの如き趨勢を示して居るのは甚だ遺憾と云はなければならぬ近來に至つては相當の根據を有する邦商もあるのだから須らく之が對應策を講じなければならぬ若し時代の推移に任せて置いたならば奉天雜貨界は

▲漸次支那商掌裡に歸して仕舞ふ事は火を見るよりも明かである何故なれば支那商人の經營費用は日本人の其れに比し半分或は三分の一で堂々陣容を張り得る組織になつて居るから甚だ油斷は出來ない殊に其の得意に向つての信用は從來の關係上到底吾々日本人が喰ひ入る事の出來ない密接な取引になつて居る、これ

▲支那商の最有利な點である右の如き有利な點があるから併行的經營法を以てしたならば、漸次支那人に勝を制せられる事は免れぬ邦人の爲めに大いに把握すべく且つ大いに努力を要する次第である支那商をして今日の形勢を作らしめたのは如何なる點に基因して居るかこれ三四年前より繼續して行はれた

▲紙幣硬貨兌換業に熱中し實業的發展を忽諸に附して毫も顧みなかつたに因るものと云ふ事が出來る併し其兌換業も本年五月を以て中止となり來年二月迄は同業者は手を空しうして待ちて居らねばならぬ次第である幾分なりとも貨業を營み相當の地位を造つた者でも兌換業に入つた爲雜貨の方を止めた者も尠くない止めない迄も今更に復活せしむると云ふ事は難事である併し近來

▲大阪資本家進出するものが多くなつて來て而も此等は著實に其地盤を堅めて行かうと企圖しつゝあるものが多いから向後は漸次日本商勢力の挽回は出來る事であらうが戰後十幾年か此地に苦勞した同業者は此際更に大に奮發を爲し新來有力者の指導に立つを要する譯である

◎航路復活說

◆商船の鴨綠江航路◆

今春滿洲問題の囂々たる時に於て大阪商船會社の鴨綠江航路突然廢止するに至り安東縣及び新義州の貿易當業者は打擊の上に打擊を加へられたるの形となり鴨綠江貿易の發展に於て一大障害を生じたるこゝを悲觀し新義州實業界有志の一團より實業會は平北道長官を經由して總督府に對し朝鮮郵船の命令航路を開始せんことを請願するに至れるが折柄船腹の不足は海運界一般の叫びなるを以て到底其目的の域に達し難きに斷念し鈴木商店廣商洋行等は各滊船の配船を繼續して鴨綠江及び阪神間の航路を開始するに至り來春にも至れば尙同樣の計畫を實行せんとするもの又尠からざらんとする折柄に鴨綠江の有望なるに着目せる村井汽船に於いては明春解氷期より愈阪神間及び鴨綠江の航路を開始する決し已に店員を特派し各寄港地に於ける代理店院其他の調査をなさしめつゝあるが恰も又此時にあたる總督府當局も鴨綠江貿易の勃々たる盛況氣運に顧み遂に朝郵汽船の鎭南浦航路を延長して新に鴨綠江航路を開始するに決定せるを傳ふるに至り新義州市民は頗々たる此福音に對し大ひに欣喜の意を表しつゝあり(新義州)

◎奉天製革發展　眼覺しき活動を見る

奉天に於ける製革事業は一時甚だ有望視され多數の人士に依り精密なる研究を遂げられたるが何にせよ最上精革とすべき材料は必ず内地及び朝鮮より移入を俟たざるべからず唯材料のみは豐富なるも前年の要求は全部最上品のみなりしを以て折角大進展せんとせし奉天皮革界は一時望み無きを唱ふるもの多きに至り自然衰微の兆あるは免れず甚だ悲觀の狀なりしも西歐の需用は到底最上品のみを以て滿足なる供給を爲し能はず今日に於ては中等下等の別なく既成品なれば何品なりと輸入し以て用を充たすの有樣となり奉天皮革界は目覺しき活況を見るに至れり目下有力會社としては南滿皮革會社、日華製革公司、華東洋行の三會社なるが今日の製革能力を以てしては如何に晝夜兼行の努力も到底需用の三分の一を充たすを得ず從つて當地に製造工場を有せざる大阪九鬼洋行支店の如き朝鮮製革會社出張所の如きも相當の賣行きを見るに至りこれとて需用供給に滿足を與ふる不可能にして盛んに内地及び米國取引店に打電し至急送荷を促しつゝあるの形勢なり而も此需用は增加し及び西伯利に於ける需用は增加し其上騰貴を見越て幾分買氣配を唆りつゝあるを以て益々盛況を呈せんとしつゝあり一方支那側製革所あるも此等は技術に於て甚だ劣るものあれば到底問題にならず徐々に日本製革業の進展を促すより外に道なかるべしとて小規模の工場を

◎新大豆(大邱)

大邱に於ける新大豆は例年九月廿日前後を以て出廻るを例とせるが本年は同期に見本的に僅少の出廻りありしと雖も非常に頓と出廻らず全く時期遲れの觀あり即ち昨年は十月十五日の決算にて一萬三千五百餘叺の出穀を見たるにも拘らず本年は僅に九百九十五叺の出穀に過ぎざる奇現象を呈せるも這は本年度產穀は品質頗る劣等にして乾燥亦不良なるより檢査當局に於て品質の不良を補ふ程度に嚴重なる乾燥を促す關係よりして自然出穀手續きを見合はする者多く隨つて此の如く奇現象を呈したるもの如し價格は昨年の一石十四圓五十錢内外に比し本年は十六圓内外の高値を唱へつゝあるも前記の如く品薄の爲め商人間の競爭合となり爲めに產地農家は非常に堅硬を唱へつゝあり

◎京城以北の鮮内では　未だ初めての新らしい試み

近來平南道内農業の發展は甚だ素晴らしいもので其の耕作方法から收穫上から見るも明かに立證するに足るべきものがある、今度新なる思ひ付で棉作の間に小麥の間作をすることを試驗的に目下龍岡方面で六畝歩丈やつて見たさうであるがこれは朝鮮でも京城以南は隨分あるが以北では未だ何處でもやつてゐないと云ふことである、南滿洲地方ではズット以前ドシ〳〵やつてゐるのであるからだ。先にも云つた京城以北の朝鮮では行つた事がないと云ふのは少々可笑い話だが夫には『棉はこれまで棉の出來てゐる處より外に出來ない』と云ふ半迷信的の樣な不進歩的な考へからそんな方法は採らなかつたのだらうで棉はどんなつまらない土地でも肥料さへ施せばいくらでも出來るものださうだからこれは全然何にもならぬ徒勞に過ぎないのであつたそれでこんど試みたが法が愈大丈夫となれば其利益は大したもので平南全道から見ると孟山、陽德、德川の三郡を除いて棉作九千二百八十一町九反あるがこの間に小麥を間作するとつまりそれ丈小麥が多く作れることになり又小麥作二萬五百四十町四反あるから是又この間に棉を間作すると前の小麥の樣に綿がそれ丈多く作れることになる要するに具體的に之を云ふと從來前記三郡を除いて棉作が九千二百八十一町九反のものが小麥田に間作すると二萬五百四十町四反を加へて二萬九千八百二十二町三反と云ふ棉作の面積が出來又小麥作も夫丈の作付面積がある譯であるから其利益の多大なることは今更云ふ迄もないことである

◎風變りの手で　僞洋酒

新開地の繁昌に附込んで近頃惡い奴が入込み種々の惡事を企らむ中に是は又風變りの手で正直な新開地の人を欺かうとした曲者の話である、所は滿洲の立山で此處はツイ此間まで淋しい一寒村であつたのが製鐵所が出來る樣になつて俄に繁昌して今は五六千の人口を有する都市となつたのである、此の立山へ洋酒を賣擴めに來た男がある、其の曰くに自分の實兄は現在京城で洋酒の輸入商を營んでゐる者であるが販路擴張のため定價の三割引で卸賣をすると此の事に其に乘つたのは此地で宿屋と菓子屋とを兼業してゐる川上某といふ者であつた、所が何ぞ知らん此の洋酒といふのはアルコールに蠻舍利別を混ぜて水でゆるめたもので其の本元は歐洲抔とは眞赤な嘘で奉天西塔大街裏通りの僅か四疊半の家で山本洋行といふ看板を掲げた僞造洋酒屋であつたので我頃此事が發覺し前記川上は仕入れた十六本のイカサマ洋酒を其筋の手で沒收されたといふことである(奉天)

◎石で殺して　其上咽喉を絞む

平安北道碧潼郡松西面生當時廿六才崔仁順同郡閣子居住俊行(四五)は平安北道泰川郡西面生當時前記居住鄭孝極と近所に居住中、去五年舊五月頃より孝極の妻方召史と通じ不義の快樂に耽り居りしが俊行はこれと前後して孝極の實母崔氏とも情を通じ居り遂に崔氏と夫婦となり同棲する事となりたるも方召史とは依然情を通じ居り如何にもして本夫孝極を殺害し女婦と一緒になり面白く可笑しく暮らさんものと大それた野心を起し

▲時機の熟するを待ち居たるも當時方召史は姙娠中なるを以て其の目的を遂せず時機の到來を覗ひ居る内鄭夫婦は都合あつて大正九年十二月中北倉と稱する處に移轉する事となりたるより遺憾やる方なく快々として樂まざりしが本年舊五月四日孝極夫婦は其の實母に面會の爲めにとて打ち連れ立ちて來れるより俊行は時機來れりとなし方召史と密議の上この機に於て孝極を殺害せんと謀し合せ

▲自宅に殘し置きたる自分の衣類を取り來るべしとて翌舊五月五日午前七時頃俊行方を立ち出でたるより俊行は心窃に打ち喜び其の跡を追ひ行き自宅を去る約一里の河岸孤山子と云ふ處にて孝極を引き捉へ手頃の石を以て前額部及び後頭部を亂打し氣絶したるを見濟まし猶ほ蘇生する事もあらば發覺の基と心に問ひ心に答へ大膽にも孝極の締居たる帶を解き咽喉を縮て絕息せしめ何喰はぬ顏して歸宅し姦婦と相顧みて北叟笑し居たるも早くも同地官憲に探知せられ

▲身柄を逮捕せられ安東領事館通化分館に於て取調べを受け居たるが該夫婦共謀の上殺したる事を逐一自白したるを以て十九日夜警官付添ひ安東警察署に護送し來りたるを以て目下同署に於て豫審中なるが不日豫審終了次第旅順地方法院の公判に附すべく同地へ檢送する事となるべし

京

人形の家

西村樂天獨演　於黃金館

本廿三日限り(一枚一人通用)

讀者優待半額券

割引　一等三十錢　二等二十錢　三等十錢

普通　一等六十錢　二等四十錢　三等二十錢

京城日報社

◎ミツワ石鹼

純正の石鹼は亞爾箇保兒に透明に溶解し、遊離脂肪なきが故に混濁する事なく混合物なきが故に些の沈渣をも殘留せず更に『フエノールフタレイン』を以て仔細に遊離の亞爾加里を驗するも毫末の反應を呈する事なき、是を化學上の純石鹼なりとす。皮脂の分泌量多くして而かも粗糙なる本邦人の皮膚、及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹼は、啻に化學上の純石鹼たるの故のみを以て、其適否を論ず可からず。

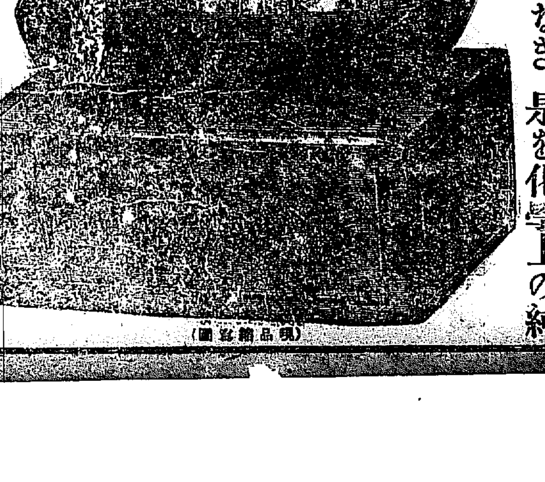
◎ミツワ石鹼は化學上の純石鹼たるのみならず、尙左の性狀を具備す。

一、原料を精選し、脂肪に、香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ゐず

一、溫雅の芳香を有す。

一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし。

故に、一般の家庭に於ける、浴室、化粧用として、衛生に適ひ、經濟に合する。理想的實用品なり



(現品箱裝圖)

種類	價
大形	金貳拾五
中形	金拾八
小形	金拾貳
極小形	金八
水石鹼	金參拾五 金五拾

内地以外は關税運賃を加ふ

本舖

ミツワ家庭藥　ミツワ規那鐵葡萄酒　ミツワ人參葡萄酒　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元（登錄商標）

東京市日本橋區橋町四丁目

藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋

丸見屋商店

電信略號◎ミヤ　振替口座東京七一番　營業部電話浪花二〇四四八・四四九・四〇番

◎ミツワ人參錠

人參を科學的に研究して之を錠劑とせる

主効　神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退。

本劑は鎭靜、催眠、利尿、健胃、強壯等の諸作用を具ふるものにして其醫治的効用の大要を擧ぐれば、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー及是等の疾患に發現する諸症候、即ち精神興奮、情調異常、意志薄弱、讀書計算不能、思考力判斷力記憶力減退、睡眠不安、消化不良、心悸亢進、手足厥冷、遺精陰痿等に對して偉効を呈し、頭痛、偏頭痛、眩暈、腦貧血、腦充血の如き神經系疾患を治し得べく、之を急性並に慢性腎臟炎に適用すれば、尿異常、浮腫、其他の苦惱を除き、分娩前後及び結核、癌腫、梅毒、神經病、胃腸病、子宮病、諸種傳染病等に因る貧血並に榮養不良を回復して蒼白なりし皮膚をして強壯なる血色に變せしめ、又精力減退、即ち精神の困憊並に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

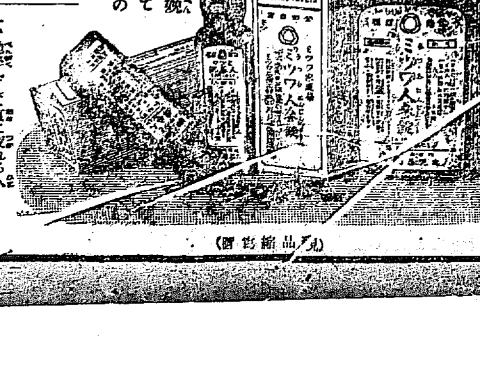
定價　百錠入金五十錢　五百錠入金二圓　内地以外は關税運賃を加ふ

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS.　100 tablets ¥ .50　500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochonderia, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

適應諸症

一、頭が重く或は頭内が朦朧とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて苦手となる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、眠れても凶い夢を見る人
一、些細の事を氣に懸ける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しくも無いのに泣きたい人
一、精神の障々する人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へることの出來ぬ人
一、物事の理非判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、雜念が頻りに起り集注の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、陰萎や遺精で悲觀する人
一、腎臟病に苦しむ人
一、產前產後又病後の衰弱を防ぎたい人
一、勉學をして直に疲れる人
一、勞働して疲れ易い人
一、精神の疲勞を早く治したい人



(現品縮寫圖)

商況

東京株式（電）
廿二日後場引値

東株	一七三、五〇
同新	一三九、三〇
鐘紡	二三九、七〇
新紡	
拓殖	七五、〇〇
郵船	一八七、三〇

東京現株中値
二十一日

日本銀行	二〇二、〇〇
南満鐵道	一三五、〇〇
同第一新	九九、〇〇〇
同第二新	九五、五〇〇

東京期米特電
二十二日

▲前場　天候懸念と各地高に八十三錢と十二錢方に寄付き共為七十九錢に下押したるが中東筋其他地方筋よく買進みて九十八錢に沸騰し地場の買押へに八十九錢と伸悩みて打止めたり ▲後場　前場強硬の氣先各地の小戻を傳へて九十五錢と寄付きたるが折柄西地の安報に地場筋の乘ずる所となりて七十六錢より六十五錢の安値に暴落し引際各地の戻りに七十一錢と下げ氣味に散會したり

廿三日前場　三十三圓六十五錢

兵庫期米特電
二十三日前場　三十三圓九十二錢　九十四錢

大阪株式特電
二十二日

▲前場　昨後場不況の折柄東京安を移し株に月末關係上一向人氣振はず買方一度の投物もあり新株が商内の相にも軟弱を示せり即ち東新二圓二十錢日紡二圓七十錢久原が新一圓七錢安を始め其他各々小高下の中に小甘く推定株は鐘紡及び郵株四十錢より一圓十錢ながら大株一圓より一圓五十錢高を呈せり ▲後場　本邦引際下値の折柄東京の一層風情み眺め人氣漸く跌付きたるが引續き商内の見るべきもの無く勢ろ閑散にて相場は膠着状態を呈し鐘紡郵船一二十錢高大株六七十錢下押したり

大阪三品特電
二十二日後場

宇治川水	五〇、〇〇	
京阪電鐵	五〇、〇〇	
東神株	五〇、〇〇	
東神新株	五〇、〇〇	
同上新株	五〇、〇〇	
鐘淵紡績	五〇、〇〇	
合同紡績	五〇、〇〇	
同上新株	五〇、〇〇	
大阪商船	五〇、〇〇	
同上新株	五〇、〇〇	
郵船株	五〇、〇〇	
同上新株	五〇、〇〇	
堂島米穀	五〇、〇〇	
東京株式	五〇、〇〇	
大阪株式	五〇、〇〇	一三七、〇〇
同上新株	五〇、〇〇	一四九、五〇

二十三日前場

十月限	三九二、二〇
十一月限	……
十二月限	……
一月限	……
二月限	……
三月限	三六三、六〇

大阪期米特電
二十二日

▲前場　國上の冴ねざると地場及び東京筋の買進みに三十錢さ五錢高に寄付き共爲東京の高報に三十五錢と跳れしが地場軟派株式筋朝鮮筋の賣進に三十三錢さ押し跡三十三四錢所に持合ひ居りしも止節各地の高報を傳へて三十九錢と高値引を示したり ▲後場　前場引況小戻の氣先ながら三品筋株式筋正米筋の賣進みに地場買向ひしも利かず三十五錢と鈍状に始まり共爲東京の小高さ入電ありしに拘らず三十一錢に押し跡三十一二錢所に頑强く持合を呈せしが折柄馬關の不況を傳へて十八錢と崩れ結局十九錢と頗軟勢裡に散會した

廿三日前場寄付　三四、一六

下關期米特電

高値	三四、一七
止め	三四、一六

廿二日後　小雨霽れ、正米産地暴落を示れ投げと追乾殺殺倒し市況底抜け模様

寄付	……	三三、八五
高値	……	三三、八五
安値	……	三三、四〇
止め	……	三三、四〇

雜穀

●正米引弛む
正米　昨報市情の如き下に各精米筋の買控へ居れば商内としては必需の補充買に過ぎざるの爲め市況沈静にして漸次に不勢の傾きなり今朝は日本米三十二圓二十五錢在來種三十一圓五十錢玄品三十圓七十五錢の標準にて弗々の出來値は一昨日來約四五十錢の安り

見當
にて眼先一般安目越しの折柄なるも釜山其他の地方に比較して二四乃至三四十錢方割安に在る當地の事なれば今後各地の下落を見るや否や果して如何なる程度まで下げ得べきか當業者も此邊聊か氣迷ひの體なり

●板硝子大亂調
板硝子は米國品の輸入杜絶以來旭硝子の製品のみに依給を仰ぎつゝあるが近來本邦需要の増加せるのみならず海外輸出又頗る旺盛にて共製産力は需要額に比して著しく不足を生ずる事となり同會社は遂に前約引渡の整理上前月末に至り新規口に對する賣止め本邦需要の倍償なきに至り

弗々入荷
前約積殘の移入は市に於ては鮮内の需要を満たさる所あるに止まり延滯の折柄さて漸次市在荷の減退を来しつゝあり何分時期は需要の最盛に期に當れる事さて荷動き頻繁と相俟つて自然人氣を煽ぶり居る相場は本月初めより漸次昂騰を續け昨今にては

黒蓋の二十八九圓より三十圓に上り
を示す今會社側は其後依然賣止めをなし

今尚解除の見込
みさへ著き難き模様なるを以つて現在は兎角前途の大締底は單に晩免かれ得べからず左れば目下の注文に對しては需要者間の相場を敷あるが放に需要者側に於ては少しも手出し得ぬ有樣にして需要者側に満足を與ふる迄至難なる爲め勢ひ市況は

大亂調
を呈し居れり

●雜穀不引立
小麥は相場進みありしも商内甚だ不引立にて目立つた買物は見當らず

一部思惑口買
進みありと雖も單に拾ひ買に止まり居れば一般需要者側の手當も立つ買人なく賣物豫ね商内甚だ閑散なり大麥は不良の爲め閑散の狀態にて見當なき有樣なれば大豆共に依然保合の相場を維持し居れり

小豆は新物
入荷開始され古物品下九圓乃至十九圓五十錢處に出來しつゝあり新物は上品十九圓七十錢より二十圓見當に相場

相當に出廻
ありあれば引續き不勢なり

綠豆
は新物の出廻あるも古品の在荷乏しき折にも拘らず小口のみに場は十一圓次品十三圓見當にて

高唱へな支那粟
人間に弗々上品の買覗きある爲め格好品は幾分引締め模樣にて唱へは海上十二圓五十錢並陽十二圓四平街十一圓三十錢處なり

●碎米上物好況
本品は鮮人側上物買進みあるため

他品に比し好況
を呈せり特等三十圓一等二十九圓五十錢と強きも裾物は依然買行き鈍狀にて不味の成行きなり

●籾も引弛む
籾は玄米不買の爲め進人なく自然附値安ければ玄米同様不勢にて鮮力種九圓二十錢在來種八圓七十錢大品八圓二十錢唱へ一昨日來一二三十錢方引弛みたり

●麥粉安氣配
麥粉は講和懸念、正米の不勢に依りて最近迄大口の五圓十五錢見當にて商談盛んなりし滿洲粉も昨今は五圓〇五錢見當に迄下落し引きも必ず

錢以上下落
當品は商人共に小口物のみにて潤りは殆ど拂底なり

●角砂糖昂騰
角砂糖は期節の需要期に入り一百磅一圓四五十錢方入荷不足の爲め五磅約五十錢見當なり騰貴し箱入二十六斤入見當を唱へら

●錫は不漁高
錫は漁場附近の天候不漁なるに鑑み東京其他の影響を受け安那輸出の好況等により最近減切り相場品騰を報じ當中値も倒先一パ二十目前五十七八圓に暴騰せり

南大門廻穀

烏山玄米	五五叺
鳥山白米	一五叺
郭山碎米	二四叺
元山碎米	二七叺
汶山籾	四八叺
長湍籾	九八叺
前義州白	二〇叺
仁川外米	二〇叺
仁川玄米	三〇叺
中和胡麻	五叺
水原白米	四二叺
沙里院米	二六叺
郭山玄米	三〇叺
定州玄米	七叺
金村籾	二〇叺
安東米	三叺
鳥山玄米	三七叺
仁川小米	八叺
仁川大麥	四五叺
平壌胡麻	一三叺

仁川正米
▲籾の入庫日増に多く▲正米は籾の入庫多く續て安人氣と唱へ應ゐるか粉米筋も安値は弗々買漁みたるより人氣稍落付き模樣を呈し商談弗々行はれ地撥玄米三十一圓より上品一圓五十錢の出來

釜山市場
廿二日

▲玄米　四五十錢安　昨一日市場に於て頃來一腹にて買氣みなかりし精米の需要の買覗き弗々ありて一兩日不況なりし十五錢の移りに物現はれ二十一錢さ上伸し十九錢引▲第五節　大阪天候小雨前寄十六錢兵庫三圓九十二錢の入電にて中二十八圓三十五錢先十九錢より七錢さ辷りたる折柄大阪二節十七錢三節十六錢東京六十五錢兵庫九十四錢下の關四圓八十五錢の入電に買物多く

跳れ依然保合に二十一錢
にて買物多く

各地商況

○大邱米況（二十二日）
▲玄米（保ご）内地米は各地共依然保合持續大阪先物三十圓三十九錢の前止入電市場正米は前日來弥落の機先本日賣物は良品の少數のみにて安値では賣急がず買方は精米筋ホンの補充買に過ぎず移出筋は拂物ありば買相ばん位ひにて一向に氣乘りなく殺良三十六圓丁度に仲少數の取引あり氣配保合を存し居れり

新玄米（建らず）　輕殘物不合格八十餘圓三十四圓三十錢の出來にて之亦繼なく大邱物は未だ賣物出現なし

生魚市場
京城日丸市場
鰹節の類稍々廻着減退の模様にて本日は總數少なき方なり

一〇三五さくら二五ひらす二〇一五あち二五四さば二二〇一〇七〇くるまひび一五〇ひび一〇〇にべ一三さより二〇れんこ二三ふか七〇あかひ五〇ちう一二二ぶだい四〇小物一四

下關糧場
▲朝鮮米は概況　其後白米七百叺の輸入ありしが抵先約定にして買物さして出廻り僅少なるも何分過日來人氣一變を呈したると同時に他よりの注文全く杜切れたるのみたらず眼先き向

断く强硬の成行を示したり合節

●安見越し
只管買人の手控へ居る爲め昨今の如き迄に見るべき商内なく而しても人氣は頗る悲観沈滯を極め居るや見當さへ立ち難き有様なり ▲小豆は格別狂はず 本品は過日來正米の形勢一変を呈したると同時、只管買人の手控へ居るため昨今見るべき商内行はれず爲め市況活氣なく然れども已記の如き情の下に別段賣り急ぎ物も現はれざる爲め其後差して人氣狂はず ▲大豆は變らず 共後龍山物九百四十三叺に端物百四十二叺慶山物百叺等の輸入ありしが依然産地の人氣安からずして不引合な勝に各手持筋の氣張り居る爲め人氣惡しからず然れども追々出廻り増加を氣構へ兎角高値は警まざるに依り市況引立たず猶物六百叺許りは十九圓六十錢に手合せ行はれたり

朝鮮一等白米	四十五圓五十錢
同（賣出）	四十六圓
端川海南大豆	二十三圓
龍山大豆	十九圓八十錢
釜山大豆	二十圓
慶尚南大豆	二十二圓三十錢

仁川期米
二十三日前場

（底強し）

▲第一節　各地前寄未着にて當地寄停止中　先二十七出來不申

圓二十錢と十錢

安に寄付く
十二錢と押したるも買物多く二十錢と返し十六錢と押し八錢引 ▲第二節　中出來不申先十六錢より東京前寄三圓五十五錢の入電に買物現はれ十錢と押し二錢引 ▲第三節　中出來不申先十一錢も買物多く四錢と返し二錢引 ▲第四節　中出來不申先十五錢より大阪前寄四圓十六錢東京六十五錢の移りに物現はれ二十一錢さ上伸し十九錢引 ▲第五節　大阪天候小雨前寄十六錢兵庫三圓九十二錢の入電にて中二十八圓三十五錢先十九錢より七錢さ辷りたる折柄大阪二節十七錢三節十六錢東京六十五錢兵庫九十四錢下の關四圓八十五錢の入電に買物多く

米穀安全
李家商店

▲前場中止出來不申
▲先節二十七錢十五錢七錢五錢四錢三錢一錢四錢五錢
四節三錢七錢五錢六錢五錢七錢
六錢五錢六錢七錢六錢八錢
九錢二十錢十八錢七錢六錢七錢
八錢十六錢五錢六錢五錢六錢
四錢十錢一錢三錢四錢三錢二錢
一錢二錢四錢五錢
二錢四錢三錢四錢五錢四錢五錢
八錢二十錢一錢二十錢十九錢二
十錢一錢二錢十九錢十九錢
八錢九錢八錢七錢八錢七錢八錢
九錢二十錢一錢

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
今村覺次郎
電話長三三番一八番

市場雜觀
▲昨後場は引跡著電大阪前寄三十一圓三十錢一節三十五錢二節三十三錢四五六節未着七節三十九錢八九節三十一錢十節三十九錢東京三圓八十九錢より三節七十九錢跡未着兵庫三節十二錢移り十九錢跡未着にて當地寄停止中出來不申先二十七八錢さ三錢高に寄付きたるも買物多く三十錢さ押しが買物漸く多く二十六錢を押し一節を送つた二節中出來不申先二十七錢より二十錢と上伸し二十九錢三節中出來不申先三十錢より一錢と跳れ三十二錢十九錢と辷り三十錢と散會したり合節の中市況は大阪の在外電硬を報じたるも當地も利喰の氣も割安思ひの買物現はれたると利喰の氣に强硬の成行を示したり

倉重
仁川米豆取引所仲買人
電話五三〇番

▲天候晴天今朝大阪の〇四五錢さ安人氣を受けて當地も二十八圓五十錢先二十七圓

二十錢と下寄
（賣物多し）く十二錢と押し二十錢と返したるが

東京の下寄へ受
け

更に十錢と瓦落
しるも押目は買物多く大阪の寄付き變らざる入電さ東京高を受けて二十一錢と返して散會したり

▲市況は依然保合にて一高一下の繰り返しを居るに過ぎず當面正米界の情勢を聞くに現下の事情は尚ほ品薄高に膨しも目標さする能はざる新米作新米にて十二月中旬受渡し先約定二十八圓五十錢見當に定め弗々取組

恰も正米と同
じ見當すると漸く十一月限二十七圓二十錢は出升を新米格として一に相當する標準となる能はざるは悲論なるも正米の先約定

仁川米豆取引所仲買人
仁川海岸町三丁目
三巴仲買店
電話二二二〇番
振替口座京城四〇二番

さるは悲論なるも正米の先約定になり居るは大に注目に値する者あらん今後正米の用盛に期に際し尚此路の餘地あるや否やは疑問である

青物小賣値
一般に出廻りの減少に連れて各種に出廻り大根も漸く菜等は相場不步調となり共々仕入居口の買進め爲め供給不足の振合ひにて一段の騰貴し大根、作り良好ならず追々漬込み時期に迫るに從ひ品薄氣配なり

だいこん	四〇しんきく四〇
ほうれんそう	三五
だかな	四〇しづな三五
はくさい	正〇〇たまな五〇
なつば	二五がぶ四〇
せり	一五れぎ二〇
さつまいも	三〇ばれいしよ三〇
ながいも	九〇〇くいも一五
さといも	六〇あかめいも六〇
たまねぎ	六〇くわい二五
れんこん	一〇〇ごぼう四〇
にんじん	二〇いんげんまめ七〇
さやえんどう	七〇わけぎ二〇
ぎうり	六〇みつば二〇
かいそう	二〇

仁川米豆取引所
廿三日の十二月限

前場	
寄付	二十七圓二十錢
止メ	二十七圓廿一錢
高値	二十七圓廿一錢
安値	二十七圓十一錢

平均値段	
一節	二十七圓十六錢
二節	二十七圓十三錢
三節	二十七圓十三錢
四節	二十七圓十五錢
五節	二十七圓十九錢

白米標準値
四十圓五十

白米小賣値
四十一錢（一升）　四十錢五厘

廿六番角力
毛谷村六助　四十三席　桃川桂玉口演　浪上義三郎速記

仲々九郎兵衛は、九『お前は此中で一番立つ者と思ふが、何んだお前、大『へイ私は何でございます、若者の世話を致すもので、九『ウ、では親方とか秩序とか云ふものか、大『へイそんなもんでございます、九『ウ、左樣か、何んだそこに標の立つて居るのは、大『これア今飯を二升炊きまして握飯にして若者に食はせるのでございます、九『左樣か、こつちの布のかゝつた其鉢は何んだ、大『エイこれア御副食でございます、九『ウ、菜のものか、其德利は何んだ、大『色々なものが眼にお付きでございますな、之は酒が二升入つて居ります、九『其砂鉢と飯櫃と酒を此方へ持つてこい、大『何になさります、九『何にするぢやアない、拙者食するのだ、『御冗談を被仰つちやア叶けません、九『イヤ、遠慮せずに持つてこい、大『誰が遠慮する奴があるものですか、九『グズ〳〵するな』と委細構はず酒を平げ飯も喰盡し肴のものは汁迄も吸つて了ひました、ハヽヽ之で滿腹になつた、大『苦うしなるでしよう、そんなにお食になつて一時に下は何と仰しやる方ですか、九『俺か佐々九郎兵衛と申すものだ、大『左樣でございますか、爲渡御待ち下さいまし』紙片へスラ〳〵と書いて渡した、九郎兵衛取揚げて見ると、飯二升酒を二升お菜まで皆さつさと九郎兵衛樣、九『イヤこれア面白い必ず此の禮はする、夜明けを待つて高次殿の御目通り早速主從の約束、京極家中で隨一の豪傑と云はれました、人が飛込んで土俵へ上がる、行司の引く團扇、諸共立たが早いか突きか、つて來る、賤ケ嶽したる六助、前へ泳いで行く九郎兵衛の後へ廻つて腰を突く、只でさへ機みの付いて居る所を突かれたる九郎兵衛、飛出す途端四本柱の手摺に當り水溜れて泥だらけ、其の中へ倒れて顏を突込みまして、泥だらけの顏で起上がつた、ヤンヤ〳〵と六助を賞め稱す聲、鳴時は鳴も止まず此時貧呂利新左衞門詠んだ落首が、さつさつさ土俵の外へ飛出して其名の通り面は九郎兵衛、續いて英雄豪傑、六助の相手をする第三番に土俵へ上りましたのが田中式部大輔義正の臣宮川正房、すると溜から男色シッカリやれと吹鳴つたものがある正房パッと顏を赤めました此人そんな事をしたのではないが年の行かぬ時分に兩親に先立たれ不憫と思つて、京都宮川町の男色茶屋の主人が育て、見れ年頃になると傳い力で房太郎と名乘を正房と付けました、依て大郎と追廻しに使つて居りました折納京都守護の役羽柴筑前守秀吉家來田中、兵衛と云ふ人が、市中巡廻りで房太郎の力のあるに感心して貰ひ取りまして文武の二道を仕込み、剱術も宜く、世は秀吉の天下となり、主人吉兵衛は式部大夫に任官房太郎は姓を宮川名を正房と付けましたが、至つて大力な人で行司の引いた團扇諸共ガッキリ四ッに渡りました、押し合揉み合して居るうちに、六助の力や勝りけんヤッと宮川を眼よりも高く差上げました、これはツと思ふうちに二振三振り西の溜を目掛て投付けました、ドタンと豪い音をさせて尻持を搗まし此時廊下の傍に居りました例の新左衞門は、さゝ〳〵と土俵の外へ正房が今日の相撲に尻を狙はる、た、第四番目に之は四本柱に居ります石田の臣大山伯耆、有名な人でヤッと立上がるや二突三突突合つて居りまするうちに、六助とは力が違ひますから、伯耆を双に抱へてくる〳〵振り廻しました、機みを付けてヤッと投出す途端、大の字なりに倒れ顏がつぶ足が運惡く行ひ揃まして、顏を揃へて居る十人の胸板へアッと三成共に土俵の外へ轉げ落ちました、一番の相撲に二人一時に倒れたのでございますから、皆一同さつさと笑ひ崩れ、面目を失つた伯耆士人を抱き起して目次第もございません、平に御免るしを、お怪我はございませんか若笑ひをして三番續でした事なれば致方がない、會釋には及ばんと三成頭を搔いて居る。

○安東縣近事
▲運送組合總會　安東縣運搬業者聯合組合總會を二十日午後五時より安東商會にて開會諸種の協議をなし午後六時より晩餐會を開き和氣靄々の裡に散會したり ▲教育視察團來　朝鮮總督府の依嘱にかかる滿洲青島教育視察團の一行は小田事務官團長となり二十四日午前來安東小學校其他を視察すべき豫定なりと ▲寛甸縣の豚疫　寛甸縣地方には目下豚疫流行し斃死するもの頗る多く且つ附安縣湯池堡地方にも病名不明の豚疫流行しつゝありと ▲安東の撞球戰　安東撞球俱樂部に於ては十七日より十九日まで撞球豫戰大會を開催中なりしが二十日午後七時より決戰に移りたりと ▲東亞木材拂込　安東縣に於て今回新に創立せらるべき東亞木材株式會社の第一回拂込みは十月二十日を以て締了の答なるを以て同拂込みを終り次第直ちに創立總會を開く筈なりと ▲朝鮮製紙會長　新義州朝鮮製紙株式會社取締役兼會長藤原銀次郎氏は十七日新義州着十九日午前發列車にて奉天へ向け出發せり

十月二十五日　九星　一白　本命一白　舊九月廿一日乙巳
▲一白　排撃なるの起る日新事手見合にせよ西方を吉となす▲二黑　約束事違ふなる事あり▲三碧　新事手始むること、金の事ならば勿なし▲四綠　見込の當日轉居に着手すべし▲五黃　新事手持の家事は吉なり▲六白　金銀の日轉居旅行出入門入り▲七赤　和合の事吉▲八白　萬事一切のかけ事は吉▲九紫　不自然の事有日新事手

止瀉劑の最高權威たる柏村博士のヘルプ

下痢腹痛
くだりばら

==の時、如何なる==クスリを撰定するが一番安全？

下痢の原因
は不消化と黴菌作用に起因すれば、其藥劑は必らず、それ等に向つて二大作用がなければ決して價値あるものと云へない。然るに從來の藥劑は、その生命とすべき用意が缺けてゐて、たゞ一時的に下痢を止める單純な收斂劑ばかりである。かゝる藥劑をウカト信ずる爲め反つて病を重くし、又種々の故障を來して、キツト後悔を殘す、斯の如き實例は夏季下痢病流行の際、絶えず耳にする所であるから、其撰定には充分注意せねばならぬ。

前宮内省侍醫柏村博士のヘルプは此等の缺點を考慮配劑せる、他に斷じて比類なき下痢止腸胃藥なれば、一度これを服用せんか、其特有せる消化と殺菌の作用が忽ち其病根を治癒せしめ、腸の機能を整へると共に吸收力をも旺盛ならしむ。此所に於て、はじめて下痢止腸胃藥の眞價が認め得らる。

ヘルプの驚くべき偉効は既に智識階級から『現代唯一の腸胃藥』として盛んに賞用せらるゝ事實に徴して明なれば今更贅言を要せざれど、今や斯病に犯され易き季節に入れば、特に記して、諸君が藥劑撰定上の參考に資せんとするのである。

殺菌力絶大なる下痢止腸胃藥

定價　貳拾錢　參拾錢　旅行用ポケツト型五十錢　徳用壹圓　貳圓半

藥効作用
食過●水あたり●寢冷●食あたり●暑あたり●冷腹●消化不良等より起る
▲下痢腹痛▲吐瀉▲溢腹▲腹瓦斯を止め▲腸加答兒▲胃加答兒を治す

ヘルプの特長
健胃、整腸、消化、殺菌、鎮痛、收斂、防腐等の諸作用を完備せる現代唯一の理想的腸胃藥
▼全國有名の各藥店に販賣す▼

本舗　東京日本橋區本銀町　津村敬天堂　振替東京八六四番

互光商會汽船出帆廣告
◎第三互光丸　元山西湖、城津、清津行　十月廿七日釜山出帆
◎第三互光丸　門司、宇品、神戸、大阪行　十一月廿九日元山出帆
第三互光丸　十一月五日元山出帆
釜山　大池回漕部　電話一二三

◎日本郵船仁川出帆
大連、天津牛荘行　高砂丸　十月廿三日正午出帆
酒田丸　十月廿七日正午出帆
仁川海岸町　堀回漕部　電話十番

阿波共同汽船仁川出帆
大連直行（關東都督府命令船）　三共同丸　十月廿一日後入港　廿三日正午出
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱
大阪にて荷客通し取扱

阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目　野口商會（電話一七三番）
元山代理店　春日町　同（電話二四四番）
京城取次店　南大門通　田口回漕店
同　河村運送店

尼崎汽船仁川出帆
下ノ關、大阪直行
赤城丸　十月廿七日後四時出
大有丸　十一月一日後四時出
群山、木浦、下ノ關、大阪行
秀吉丸　十一月五日後四時出
神代丸　十一月　日後四時出
新が代丸　十月　日後四時出
仁川府濱通二丁目（電話五九番）　高杉回漕部

朝鮮郵船出帆廣告
天候其他の都合により時刻を變更することあるべし
其他の御詳細は本社又は各地代理店に就き御問合せを乞ふ

▲敦賀行　清津、城津、元山經由　平安丸　十一月二日元山發
▲浦汐行　大阪發、門司、釜山、元山、城津、清津經由　平壌丸　十一月七日元山發
▲雄基行　關門、釜山、各港經由×印江原道寄港七日　山陽丸　十月廿五日元山發
咸鏡丸　十月廿七日釜山發
▲元山雄基線　元山起點各港經由雄基迄　十月廿一日元山發
穩城丸　十月廿九日元山發
▲大阪行　絢門、神戸經由　浦汐發、元山發、城津、元山、釜山　平壌丸　十月廿七日釜山發
▲關門行　雄基發、清津、城津、元山、釜山、各港經由×印江原道寄港　京畿丸　十一月五日元山發
十一月二日元山發
雄基丸　十月廿九日元山發
十一月二日釜山發
▲金剛山遊覧便　元山發長箭經由　前往月六回四月至十一月　穩城丸　十月廿七日元山發
▲濟州島行　釜山發長承浦、麗水、巨文島經由　昌平丸　十月廿六日釜山發
▲釜山浦項線　釜山發浦項經由　慶興丸　十月廿七日釜山發
▲濟州島行　木浦發東廻り西廻り、外安島經由　公州丸　十月廿九日木浦發
東廻　慶興丸　十一月六日木浦發
▲釜山、麗水線　釜山、麗水相互ヨリ毎月一回出帆
▲木浦麗水線　木浦發釜山行麗水ニテ接續　順天丸　十月廿八日木浦發
▲多島海行　木浦發多島海各島行　慶興丸　十一月二日木浦發
▲木浦行　仁川發各地經由　全州丸　十月廿六日仁川發
▲海州行　仁川發江華島經由　海州相互ヨリ毎日一回出帆
▲鎮南浦行　仁川發各港經由　江田島丸　十一月三日仁川發
▲大連、青島行　仁川發芝罘經由　江原丸　十月廿六日仁川發
○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡ノ便アリ
社本京城南大門通（電話長一九五二、一三三三）
釜山支店　元山出張所　仁川代理店　木浦代理店　京城代理店
釜山海岸通　元山　山野回漕店　仁川　原回漕部　木浦　松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ

第五版

[illegible]西に退却を[illegible]リール要塞の死守を避けたるは白國沿海地方の放棄及びオアーズ、[illegible]ル附近の敵が退却せるのみならず既にオステンド附近には敵の影なも認めずと云ふ報道も到達せり[illegible]領土内に停止して抵抗を試みんとする企圖なきが如く又若し敵に其企圖ありとするも今や總勢例外[illegible]とありとは信ぜられず然れども獨軍は巧妙なる退却を企てつゝあり敵が戰略上白國を拋棄するを有利[illegible]として更に退却してラインの線よりの白國の國境線のみを固守し作戰專守防禦の一點張りとし持久策[illegible]に收穫を了したる[illegible]の關係上例年に比し一般に[illegible]して收穫遲延したる傾きあり少數の例外を除きては未だ充分の成熟を見[illegible]るやも測り難きにより此際耕作者は此の害を蒙らざる中に收穫を終了することが肝要なりと

[illegible]保合の裡に下[illegible]ぶりの成行きを示して散會
△後場中限出來不申
△先限一節二十七圓十一錢十[illegible]

	後場 寄付	引け	高値	安値
	二十七圓十一錢	二十七圓十七錢	二十七圓十七錢	二十七圓十一錢

京城日報

二大教育策

一

京城の報ずる所に依れば今二十四日の臨時教育會議に於いて、委員平沼騏一郎、北條時敬、早川千吉郎三氏の提案にかゝる『人心の歸嚮統一に關する建議案』及び總理大臣の諮問案『社會教育を如何にせば可なるか』の二案を討議すべしと云ふ。是實に一世の風尚を左右すべき重大なる問題にして、吾人が詳細に討議の模樣を聞知せんと欲する所なり。道ふ迄もなく朝鮮の教育行政は直接に内地に關聯なし。凡そ此種の問題は、寧ろ朝鮮に於てより多く研究を要すべきものにあらずや。

二

吾人は未だ二提案の内容を詳かにする能はざるを以て、輒く評論を挾む能はずと雖も、同會幹事たる南文部次官の言に依り、其の梗概を察知するを得。曰く建議案には、卿に提出の趣意書を附しあるも、今は其内容を語るべき時機にあらず。而も此案は社會教育策の諮問と併せて附議せらるゝやも知るべからず。此の兩問題とも極めて意味重大にして、諮問案の社會教育問題は、小松原文相時代に上議せられたるものにして、青年を如何に教育すべきかといふを主眼點と爲す。余の察する所を以てするに、社會教育に最大の關係を有するものは、第一新聞紙にして次は出版物、活動寫眞、教育博物館等の順序とす。新聞紙は善にも惡にも人心に影響する力は實に偉大にして、就中社會部面の記事が世の風潮を動かすの力は恐るべし從つて社會教育を論ずる第一步は是より出發せざるべからず。此點は深く新聞關係者の胸底に置き、自ら天下の事に任ずるの抱負を懷かれんことを望む。現在の狀況は決して理想的といふべからず、教育會議が此の問題に觸るるに當り、先づ自ら新聞を研究するの必要もあるべく、又進みて記者諸君の自覺を促すの手段に出づることもあるべし。但し壓迫力を應用するよりも、相互の諒解に出づるを善しと爲す。圖書出版は從來檢定制なりしが、是は實に緩慢なり。活動寫眞の人心を動かすの力は、ヂゴマ事件に於て明かに證據立てられたり。是亦今の有樣にては社會を毒すること多し。是等の諸問題を愼重に討議し、根本的に社會教育の革新を圖らんとする趣旨なりと云々と。

三

南幹事は上掲の如く、多く語るを避けたりと雖も、建議案の内容に就いて語り、建議案は更に進みて國民思想問題まで立入りたるものなるは、人心の歸嚮統一といへる題目にても之を推測するを得るなり。實際國民の思想が、現在の如く不統一を來したるは、論ずるまでもなく教育上の一大缺陷にして、此まゝに拋置することは、支那又は露西亞の覆轍に陷るの危殆なしとせず。從來之を救治するの策として、主として普通教育に重きを置き、小中學校教員若くは其同等學校教員を中心とし、是に由りて禍を防がんと爲したるも、此の如きは極めて姑息、極めて不徹底にして、其の功果の舉がらざる當然なり。成程小中學校の小天地に於ては、兒童又は生徒は、校長又は教員の言に滿腹の信を置くべしと雖も、一たび校門を出て、足一步社會の大なる天地に踏入るときは、凡百の誘惑は其の眼前に往來し、珍奇にして喜ぶべきもの、頹々として其の無垢の精神を累し、顧みて校庭に於ける教訓を見るに、徒らに平凡陳腐にして厭ふべきを覺ゆるのみ。此の如くにして人心は日々にます〳〵傾危に赴き、洶々として救ふべからざるに至る。

四

教育會議の建議案は、如何なる趣意に於いて立案せられ、如何なる方法手段に出んと欲するものなるやを知るべからざるも、首相の諮問案と密接の關聯ありといふ點より之を見れば、恐らくは社會的教育策の根本義を確立し、由りて以て頽勢を挽回せんとするに在りと想察せらる。新聞紙、出版物、活動寫眞等利弊の大なるものゝ、矯正するに如何なる方法手段を用ふべきぞ。吾人乞ふ刮目して教育會議の決議を見ん。

支那視察所感
鎌田榮吉氏談

客月十五日以來一ヶ月餘支那各地を視察せる慶應義塾々長貴族院議員鎌田榮吉氏は二十一日朝上海より門司上陸歸東したるが其の際語つて曰く

△現今 に於ける支那の教育方法は從來の四書五經を廢し倫理は西洋に執り道徳上の問題は之を世界的とし其の間論語孟子の實踐を教授し努めて學生の頭腦向上に譲卒しつゝあり予は北京に於て支那政府の當局者と會談せる際政治に亘らざる範圍に於て教育問題を語りしが彼等は口を揃へて日本の教育者は支那留學生に對し今少しく取扱ひ上注意を要す詰り日本學生と支那學生とを同等に教授し入學卒業試驗の如きも勵なき科目を以てせざれば支那留學生は卒業後社會的活動上頗る影響し成績も米國より歸國せる留學生に比較し數等劣る處あり這は米國の教授方法完備せる爲なりと語りたるが予は大いに之に同意したり而して又彼等は支那の留學生に對し今後支那の發展上政治法律よりも實際方面の科目を教授したきも完備せる學校なければ日本に留學せしめ教育をなさしめたし左れば以上の點を注意されたしと語り居たり日本教育者の好參考と言ふべし

△海上 方面に於ける英佛商人は昨今其所有地を賣却する傾向あり其原因が那邊にあるか詳かならざるも彼等は地價の暴騰を以て利益を得しが猶ほ此等有利なる土地を購入する必要上ならん此の賣却土地を日本商人が購入しつゝあるは喜ぶ可き事なるも今少しく努力諸國の必要なきか戰後に於ける英佛の態度は從來の勢力範圍を維持するに止まらんか米國は投資を惜まず利權獲得に努め一方支那人に對しても好感を得る手段を講ず可し現に米國人は些かの商賣上に至るも決して支那人を疎ぜず又決して商人に對し政治問題を問はず然るに日本人は支那人の離彼の構ひなく政治問題を持ち出し五月蠅がられ居れり此點に注意するは最も肝要なる事と信ず米國人は飽く迄支那人に好感を得る事に努むると上手なる性格を有せり日本人は現在の態度を改めざる限り米國人と同等の勢力を持する事困難ならんか(?)れば日支合辦事業の如きも餘程好感を得るやう注意せざる可からず

△支那 の南北妥協問題は何れもが其の主張を異にしつゝあれば困難ならんも何れも中部支那を無視する事不可能なり中部支那は支那に於る最も物資豐富なる處にして又各國の投資せる各種の事業も多數ある處なり此の中部支那に在る勢力督軍王占元李純等が何れに傾くかに依つて南北の勢力も決定さるゝものなるが目下の處にては南北妥協は其主張を改めざる限り悲想に過ぎざる可し然しながら南北の分裂は日本は勿論世界各國の利害關係あり一日も早く何れとかせざる可からず

△新聞 紙の大部分は排日的記事掲載しつゝあり之も直接的にはあらず支那政府攻撃の裏面に排日思想を鼓吹し支那政府は日本政府の傀儡的なりとて此原因は非を棚に上げたる筆法を以てせり日露戰役後設立されし同仁會は北京に二十萬圓を投じて一病院を建設する計畫あるが其傍らに米國ロックヘーラ氏は米國より支那に渡附する團匪事件の償金百萬圓を以て學校を建設すべしと言ふ米國の遣り方は何日も大規模たるは驚くの外なし(門司)

◇哈爾賓の冬の朝 鶴田樂村

邂逅
佐々木峯雪

二十九 出來心 五

紳士佐山と惣兵衞の格鬪の幕は切つて落された、罵る聲が暫し續いた。

やがて惣兵衞は組み敷かれた、

『やい、どうしやがるんだい、他人の宅へ許しも受けずに這入りやがるばかりか、斯うして乃公を殺すと云ふのだな、よ、よし』

『なに殺す……』と佐山は思はず飛び退いた

『殺すなんだ聞き捨てにはなら無いぞ、一體此事の起りは何だ、其方から好んでやつて來たんぢや無いか、馬鹿な事云へば承知しないぞ』

佐山の面は憤りの色に掩はれた

『起りが此方でも其方でも、どうでも好いわい、乃公が今聞かうといふな、誰に許しを受けて此家へ這入つた其譯なんだ!!』

『喧しい』

『お、面白い、何が喧しい』

『分らんか、分らなけりや云つてやらう。』

『それ聞かう』二人は苛り〳〵と詰め寄つた。

佐山の面は火と燃えた、酒に熱して居た惣兵衞の顏は、見る〳〵流れて氣味惡い程蒼白うなつた。

『云つて聞かさう』

『お、聞かう』爾う云ふ中にも、隙があつたら佐山に打つて懸つてやらうと云ふ氣合が見える、佐山は默し、切つた口を閉いた、

『凡そ……』と自分の後に小さう慄つて居る庄吉を氣遣つて、背後を向く途端、惣兵衞は無頓と組み付いた

『何うするんだ』

『何うも斯うもあるもんかい、うおのれ出て行せい』惣兵衞は懸命に掻き縋る

『馬鹿な眞似するな』承知しないぞ

『何をやれるもんならやつて見やがれ』

『おゝ』佐山は渾身の力を兩腕に籠めて、惣兵衞の手からするりと抜けると、惣兵衞はれせりにあせつて庭に有り合した駒下駄執つて滅多無性に佐山に打ち懸つた、

『お、おのれ』佐山の聲は怒りに慄え、憤りに熱していて息づかひが擾んで來る、

『これでも未だやから無いか、これでも』

『お、斯うなれば是非が無い』わしも優しう庄吉さんの身を賴まうと思へばこそ我慢も辛抱も爲たが亂暴で來れば仕方が無い、引つ括つて警察の手へ渡し、少年を虐待する惡魔として制裁を受けさしてやらう』佐山は斯う云ひながら惣兵衞の前に佇立つた。

『警察、警察がなんだい!!』云ふが否や、胸下に摑つた惣兵衞の右手は、佐山の咽喉の邊を颯と掠つた。

『惡魔』と聲惣兵衞の手元へ飛び込んで、その邊へ手を掛けてやつと云ふ時、共に其處へどんと打ち倒した。

『人殺し、人殺し』惣兵衞は聲一杯怒鳴り散らした。

『叱ッ、靜に爲』

『人殺し、人殺し』

佐山は庄吉に命じて惣兵衞を縛り上げた。

今引立て、表へ出ようとした。

此時どたばたと足音がして、出ようとする表戸に立ち塞がつた

『叔父さん』庄吉は其中の一人に縋へるやうに云つた、それは豐吉であつた。

『どうしたんだい庄坊』豐吉を前に二三人の隣家の者は裡に入つた

『いやもう人殺しと云ふ聲に驚いてやつて來ると、こんな有樣、こりや何うしたのだやな』

豐吉は先づ訊ねた

やがて佐山と豐吉の間に話が成つて、惣兵衞の縛しめを解いて懇々と諭した、

『以來は庄坊を勞はります、勞はります』惣兵衞は二人の前に誓ひを立てた

『眞ぢやな』と佐山は念を押して『ぢや庄吉さんあなたも孝行を忘れ無いやうに爲なさい、これは些少ですが……』と紙に包んで庄吉に渡した、惣兵衞はそれを欲し氣に目を注いだ、

『庄坊、それは叔父さんが預かつて置いてやらう』

豐吉は庄吉からそれを受け取つた。

牽牛花 兒島九皐

仙衣染得上疎籬。曉日高藥碧玉巵。莞是天人殘夜宴。世間昏夢欲醒時。

學鷗日 意聯陳、詞太新、

秋郊散策 齋藤三寅

秋霽天高白露吟。西郊曳杖可幽尋。江波洗綠霧開步。楓葉刷江醉客心。蟲韻多遙風露冷。徜徉起處暮煙侵。重見探幽翁探句。識比春遊興更深。

學鷗日 前半稍出秋景、後聯、

牽牛花 茂泉道堂

花開籬上似含情。不幸纏撩已絕清。日出三竿人起後。幽姿無跡利名輕。

學鷗日 情姿幽妍、

本社定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奥田[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城[illegible]一丁目 合資會社京城日報社 [illegible]

合資會社 福喜洋行京城 F.K 出張所新設廣告

營業科目
染料、顏料、工業藥品
各種綿糸、綿織布類

京城府岡崎町五番地
合資會社 福喜洋行京城出張所
所長 高田愛吉
電話長三〇二〇番
四九一番
振替口座京城八一九番

右ノ通リ來ル十一月壹日ヨリ營業開始可仕候間宜敷御引立ノ程奉願上候

大阪市東區瓦町一丁目一番地
本店 合資會社 福喜洋行
代表社員 小西喜代松
電話長本局 五四〇〇番 七四〇〇番 一七六〇番

高野川捺染工場 京都市上京區高野大開町 電話長上二二三六番
第一化學工業所 大阪市外豐崎町 電話長北六一〇番
第二化學工業所 尾ノ道市西御所町 電話長五八番

拾圓の反物も五圓で買へる
[illegible]

京日案内

◎女子十七八歳裁縫内弟子貳三名入用 南山町三丁目十三 三越吳服店裁縫部 歌代[illegible]

菓子店 本町四丁目[illegible]國に付商品造作至急讓る希望者は永樂町一丁目大西商店[illegible]

質屋向き貸家 新築 [illegible]町三丁目角中將湯裏[illegible]電話八九番へ御申込みあれ 倉庫新築す

●社員募集 男女廿五歳以上に限る 但し一定の給料支給す 市内確實の保證人要二名 黄金町 シンガーミシン會社

讓店讓電話 目拔の場所[illegible] 電話共店拔讓渡し度 本人來談 京城明治町二丁目[illegible] 電話二三七四 大野竹次郎商店

●女給仕採用 希望者は本人來校 京城公立高等女學校

倉人募集 日鮮人を問はず經驗ある三十年以上の者 右希望者は來談又は履歴書送れ 黄金町 齋藤酒造會社

社醫招聘 [illegible] 京城府黄金町二ノ九六 日清生命保險會社朝鮮支社

●藥店讓る 希望者は京城永樂町一丁目七十三番地倉橋方へ 電話七四五番

◎染料及附屬品販賣 京城本町三丁目 電話四八七番 マツヤ事 阿部藥房

謹謝 [illegible] 明治町二丁目 電話二七六八 明治旅館

鍼灸術 貧困者は施療す [illegible] 京城本町三丁目 電話一〇八七 大坪[illegible]

毛皮なめし並仕立 [illegible] 京城本町二 電話二〇六五番 [illegible]

店員採用 [illegible] 古市町一四 電話六七二 近藤運送店

◇嚴重處分を加へよ
英レッデイング卿の對獨演説

英國政府の對獨態度は未だ公式に聲明されざるもレッデイング卿は倫敦市長の午餐會に臨み「何等酌量す可き情狀無き者は嚴重なる處分を加へざる可からず」と説けり（倫敦電報）

◇獨回答發送

獨逸政府は十月二十二日米國大統領に對し概略左の如き回答を送れり（アムステルダム電報）

一、休戰目的を達成する爲め撤兵す可し就ては双方より軍事委員を出し現狀態を基礎とし協議する事

二、獨逸軍が退却の際自ら防禦の爲破壞行爲に出でたる事あるも生命財產を保護するに努め違反者は處罰す又潜水艇が救助艇を故意に破壞せるの事實無し潜水艇に對しては客船を撃沈す可からずとの命令せるも全般に該命令の達したるやは保證する能はず

三、獨逸新政府は議會の多數に基礎を置き憲法の改正を行ひ普通選擧を採用し宣戰講和の權限を議會に附與せり現政府は全く民意を代表し多數民意を容るゝ事明か也

◇獨逸宰相辭任か
社會黨保守黨共に滿足せず

獨逸宰相マックス公は既に辭表を提出したりと信ず可き理由ありマ公の態度は社會黨をも保守分子をも滿足せしめず保守黨はマ公が餘りに讓歩し過ぐるとなし社會黨はマ公が重大なる時機に於て餘りに曖昧なる態度を執り過ぐると攻撃し居れり獨宰相の後任として外相ゾルフ副宰相パイヤー社會黨首領シャイデマン氏等の呼聲高し（アムステルダム電報）

◇丁抹對獨通牒

丁抹は獨逸に對して通牒を發し千八百六十四年の條約第十一項中に規定したる獨逸人種レスウイグ住民が獨逸及び丁抹の孰れに服從す可きかを決定する庶民投票を今日實行す可き旨を提議したるが如し（アムステルダム電報）

◇匈墺分離の動議

ブダペストよりの報によれば匈牙利下院にてカロリー氏は經濟上軍事上及び外交上に於て匈牙利は墺太利と分離す可しと動議せり（倫敦電報）

◇チ政府獨立宣言

チェックスロバック臨時政府は巴里にて獨立宣言書を發表しウイルソン大統領に送附し來れるが同宣言書には劈頭先づ獨立の理由を述べ過去三百年の間ハプスブルグ王朝の下に大なる壓制を受けたる事を述べ更に現代民本主義を謳歌し米國平等主義人道主義に共鳴を感ずるものなる事を言ひ最後にチェックスロバック國民憲法の要點を擧げ居れり（巴里電報）

◇オムスク政府移轉説

オムスクの臨時西伯利政府は當地に移轉し來る可しとの説あり（哈爾賓電報）

◇ペルム陷落近し

ペルム市に向へるチェック軍の形勢良好なるのみならず近々英軍來援の都合なれば同市は遠からず陷落す可しと（浦鹽電報）

◇浦鹽州會の反抗

浦鹽州會はヴオロゴドスキーより任命されたる地方委員會に反抗し該委員會に對する決議を可決しボイコットを行ふに至れり最近の政爭に乘じ州會は其沿海州委員を任命し夫れにより政府の特權を奪ひしを以てヴオロゴドスキーは州會の任命せる此の委員即ち革命前單に一小學教師たりし者を斥け新に元市長にして取引所長たりし浦鹽一流の一市民を之れに任命せしに始まる此オムスク政府の名による新任命の挑戰は浦鹽州會を滅亡に導く者なりとの輿論高し（浦鹽電報）

◇總統府會議決定

二十一日總統府會議にて（一）內閣改造は十一月中旬まで延期（二）各省今後新兵募集を許さず軍司令官は現在の地點を守る事を決定せり（北京特電）

◇金券問題と聲明

財政總長は二十一日四國銀行團に會見金券問題は內政問題なるが故に外國の干渉を排する旨聲明し將來借款は國務會議の後回答すと答へたり（北京特電）

◇植民地豫算提出
朝鮮總督府其他の內容

植民地豫算は關東州を除く外全部二十二日臺灣は二十三日第一回協議會に提出を終り朝鮮、樺太は拓殖局に入れり關東州は時局の關係上諸般の新施設を要する爲め未だ豫算の正式提出の運びに至らず各地豫算の大綱左の如し

▲朝鮮總督府 は前年度に於いて愈國庫補助金を全廢し財政獨立を爲すものにして豫算總額約七千五百萬圓實に本年度に比し約一千萬圓四十三年度特別會計創立當時に比し五千餘萬圓の增加なり歳入に於て前年度に比し國庫補助金二百萬圓の全廢及び大正九年九月よりの內地朝鮮間關稅撤廢の準備として來年度より先づ輸移出稅撤廢に依る收入減あり此等歳入の缺陷を補塡すべく新財源を酒稅、煙草稅の改正及び印紙稅の收入に求め其の他人の增加、南滿鐵道納付金の增額、公債金受入の增加、其他官業の自然增收等に依りて豫算の遂行を見るべし、歳入に於ては新事業として釜山棧橋擴張費及び防波堤築造（五年繼續八百萬圓）緬羊飼養、馬匹改良、水產、林產業等の勸業的施設、仁川築港新命令航路補助水利事業資金補助及輕便鐵道補助增加、普通學校及び高等普通學校增設等にして繼續事業としては朝鮮神社造營、羅南川水路修築、國勢調查、平壤鑛業所擴張、元山海關工事等あり鐵道建設費の一千萬圓道路修築費の百五十萬圓は前年度に同じ

▲臺灣總督府 豫算總額七千三百萬圓本年度に比し二十萬圓の增加なり其の增加の主なるものを示せば專賣收入、稅率改正に依る增收にして新事業として十年繼續二千萬圓の河川修築工事、臺北高等商業學校新設、幹線鐵道の複線敷設、理蕃用飛行機購入、埤圳擴張及び六年繼續四千八百萬圓の日月潭水力電氣工事、嘉義水田十五萬町歩の灌漑工事等あり

▲樺太廳 は豫算總額五百七十萬圓にて前年に比し百萬圓の增額にて其主なる增收は森林收入なり新事業は臨時產業調査所の新設、漁港の修築鐵道の建設等也

▲關東都督府 は西伯利出兵の爲め本年度豫算に比し約五割の膨脹を來し總額八百八十萬圓に達し歳入中電信電話の收入三百五十萬圓にして本年度に比し百萬圓の增加なり尚收入增加の爲め官有地たる大連市街を明年度より毎年五萬圓宛拂下げ尚山本內閣當時二百萬圓に削減されたる國庫補助金を三百萬圓に恢復せんとす新事業の主なるものは警察官增加奉天長春間長距離電話新設大連地方法院出張所新設等なり（東京特電）

◇土調官制廢止
閣議にて決議

廿三日午前十時閣議を開き朝鮮總督府臨時土地調査局官制及び朝鮮總督府道地方土地調査委員會官制廢止の件右に關聯し高等官々等俸給令及び判任官俸給令中改正の件を決定せり（東京特電）

◇佛大使歸國

佛國大使ドライネー氏は二十三日朝出發歸國せり大使夫人が鄉里にて逝去せる爲めなりと（東京特電）

◎有望なるブラゴエ（下）

從軍記者 金谷眞

◇ブ市に於ける移民局は歐露よりの農夫の爲めに宿舍を設け且つ諸般の世話を爲すものなるが農具の如きは從來一村落共同にて使用せるもの尠からざりしといふ、戰前食糧問題のやかましき時にても獨りブ市のみにはパン缺乏の聲を聞かざりしといふ

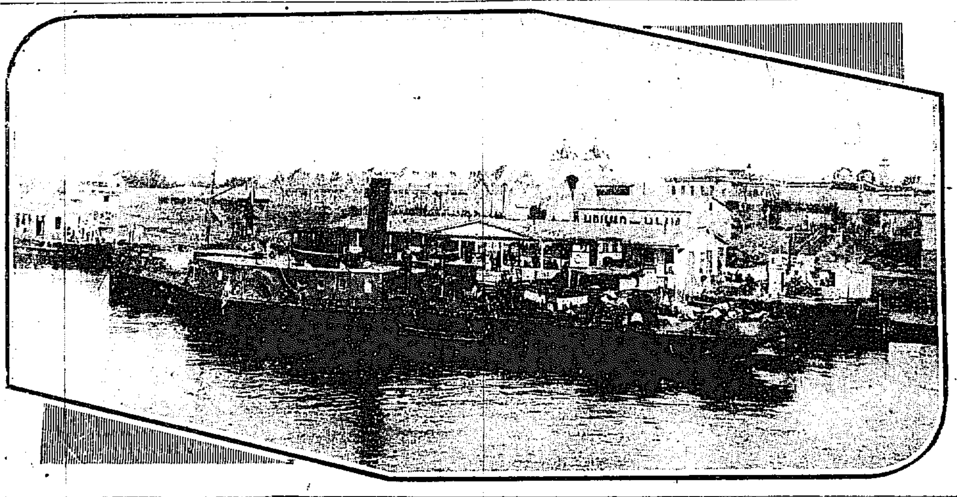
◇黑龍州の金鑛は東部西伯利亞中有名なるものなり、這回過激派の蹶起前まではブ市の上下流河岸にてすら支那鑛夫の採金せるもの少からざりしによるも、その豐富なる砂金地たるを推察すべし、金鑛中最も有名なるはゼア河の流域にして目下の採金量は一ケ年一千八百貫內外なるも、これを整理すれば裕に五千餘貫匁（約一千二百萬圓）を產出すべしといふ

◇また黑龍鐵道と東淸鐵道と連絡すべき北滿橫斷鐵道は此の地方開發の爲め最も緊要なるものとなり目下ブ市に入る物資の輸送經路は（一）浦鹽より鐵道によりハバロフスク黑龍鐵道による者（二）ハバロフスクより黑龍江を遡航するもの（三）北滿哈爾賓より松花江を下航し更に黑龍江を遡航する者（四）北滿齊々哈爾より興安嶺を越ゆて百四十邦里の陸路を輸送するものの四つあり

◇而して第一及び第四は主として冬期間に用ゐらるゝも這回わが騎兵支隊の經驗によれば普通馬車にて十六七日を要する由にて困苦多大苦しき此の間を鐵道輸送に待たんか沿道興安嶺（西伯利亞）黑龍州の發展期して待つべし、露西亞は既に此の間の鐵道布設權を得たり、露人の眼光また凡ならずといふべし、猶ほ此の線は曾て日露戰爭後米國の鐵道王ハリマン氏の提議によつて人口に膾炙せしところ、われ等も亦此の方面の研究を怠るべからず

◇ブ市の人口は五萬六千餘人と稱す邦人は戰前四百五十名を算せしが本年三月のブラゴエ事件以來引つゞきての騷動に多くは內地及び對岸黑河に引揚たり、這回日本軍のブ市占領と共に歸來せる者亦尠からず從前の職業は他地方と同じく床屋、洗濯屋、寫眞業等を主とすれど中には浦鹽に本店を有せる協信洋行の如き邦人の有力者あり、また這次の戰爭に伴ひアムール商會なる合資組織のもの現はれ、對岸の黑河また御用達巴組をはじめ龍澤商會等の有力者盛んに活動し居れりと

◇目下のところブ市及び黑河にては物資一樣に缺乏し居れり松花、黑龍の運輸は殆ど不可能となりたれど齊々哈爾よりの陸送か或は明年の解氷期に物資を輸入すれば相當の儲けあるべし殊に黑龍州の奧地一帶は金はあれども物資の缺乏に困窮し居れり、黑龍州方面の市場は今後日本商人の活躍に待つ者多し吾人は朝鮮及び南滿洲方面の人々が更に眼を北方に注がんことを切望して止まざる次第なり



◇ブラゴエチエンスクの埠頭

◎日滿貿易增加

南滿洲各地に於て横濱、神戶、大阪、長崎、函館の五港より一月より五月上旬迄に輸入せる貿易額は千五百八十一萬圓に達し昨年同期に比すれば三百四十六萬圓の增加を示し同五港への輸出貿易額は六百十一萬六千圓にして昨年より約三百萬圓の增加なりと

◎鐵道乘車券委託販賣

鐵道院にては從來トーマスクック商會萬國寢臺車會社及びジャパンツーリスト、ビューローをして日支連絡乘車券に對し周遊券及び日滿連絡乘車券の引換證を發行せしめ居たるが今回現札を配給之を委託販賣せしむる旨京管局に通知ありたり

◎天津視察團入京

天津教育視察團一行十名は二十三日午前八時安東縣より入京笑福旅館に投宿せるが一行は二十四日市內各學校を巡察し二十五日午後退京內地に向ふ可しと

◎三道長官出張

全羅南道長官宮木又七氏は二十三日附往復四十一間の豫定にて全羅北道長官李鎭鎬氏は同日附七日間の豫定に又黃海道長官申應熙氏は同日附三日間の豫定にて孰れも仁川築港視察の爲め出張を命ぜられたり

◎高野店長向釜

高野三井物產支店長は關理事長、米山常務一行出迎ひのため二十三日夜南大門驛發列車にて釜山に向へり

人事消息

▲馬場鍈一郎氏（鎭南浦商議書記長）二十三日歸京
▲牧野昇氏（鎭南浦大倉組埋立事務所長）同上
▲西川宗一氏（日本產物會社司事）▲村上伊三郎氏（同社員）同上
▲佐藤壽吉氏 朝郵木浦出張員 二十四日夜赴任の筈

◇玄米食の風習
復古に就て（四）
渡邊彥氏談

內地よりも早き

內地に於ける白米食の一般的慣行は僅々二百六七十年以來のことなれども朝鮮に於ける白米常食の慣行は何時頃より創始せられたるや予未だ之を詳かにせず只古き記錄の上より拾ひ出して考究を進むれば上流社會に於ては時代より白米を常食とせるが如きも而して下級の社會特に田舍に於ては今も尙ほ古の如く玄米を食するもの少からざる有樣である予は今より七年前或る地方の田舍を巡回して朝鮮人の宿屋に止宿したることが屢々あり又屢々小豆と粟と米とを混合したる物を供給せられたることあり試みに小豆飯の多き原由を通譯者に問へば答て曰く此の邊は米が不足なる上に玄米を使用するが故に小豆の汁を以て色を附け玄米を供することを蔽ふものなりと云ふ以て今日に於ても玄米食の或る地方に行はるることを徵知するに足らむ此の故に朝鮮に於て玄米食の奨勵を爲すことは內地よりも却つて

好都合であると

思ふのである以上の次第なれば現今白米を常食とする慣行風習を打破して玄米を常食とする風習を復古的に施設することは其の供給分量を多からしむる一點のみを以てするも米價の調節を圖る一の案件として考慮の一項に算せざるべからず其の他推測的に玄米食の利益を列擧すれば

第一 水田の面積を擴張せずして米の供給額を現今より約三割以上加し得る利益がある大正五年に於ける朝鮮の米穀產額は千二百四十三萬二百八十四石なればこの各自玄米を常食とするときは之を以て直ちに供給量となすも若し現今の如く白米常食の慣習を維持するときは三百七十二萬九千八十八石二斗を粉糠として供給量を削減するなり

第二 玄米を常食とせる經驗者（鐘ヶ淵紡績會社の類）の定說に依れば脚氣病がなくなることより見れば

各自の衞生より

見ても玄米常食の風習を復古することは有益なると明白である

第三 玄米を常食とするときは米に含む所の滋養分を吾々の體內に收容する分量を多からしめ身體の營養に有利益なることを待たざる次第である

第四 玄米を常食とするときは米の搗精を省き米搗人夫の勞力及び米搗器械の力は他の用途に轉用することが出來る卽ち大正五年に於ける收穫米の內三百七十二萬九千八十八石二斗を粉糠とする勞費が全く省かるゝなり要するに現今の常習たる白米食を玄米食に復古することは米の供給力を增加して各人の營養上必要なる滋養分を多く取らしめ

脚氣病を滅じて

身體を健全にし米搗の勞費を省きて經濟上莫大の利益あらしむる等見易き所の利益を拾ひ擧げても斯の如し若し仔細に考究せば尙ほ多大の利益あることを發見するを得べしと思ふ東京市長田尻博士曰く「米扁に白と云ふ字は粕なり吾人は粕を食して悅び居るものなり」と實に味ひある言と云ふべきなり（了）

◇鳥瞰雜俎

ハバロフスク附近の一寒村を守備して居る某隊に一老婆がやつて來て今大病人があるから是非來て呉れと醫者の腕を引つ張つて放さぬ▲で軍醫が早速行つて見ると病人と云ふのは何の事だ人間ではなく牛の事だつた▲而して其病氣と云ふのは村の惡戲小僧が叨りに牛の腹を斬つたので腸が飛出て居るのだつた▲流石の軍醫先生もこれには大いに喰つた人間の診察は隨分したが牛の診察は未だした事がないに閉口した▲可愛相にもなつて老婆が泣々診察を哀願するので軍醫先生も聊か途方に暮れたがエいまゝよと牛を寢かして靜かに腹部を針で縫つた上二三度鼻を撫で、寶丹を呑ませたもんだ▲翌日軍醫が獸醫に出會つた際此の話をして兎も角も一度診てやつて與れと同行した▲すると好い按排に牛は元氣附いて傷口は能くなりかつて居たので大笑ひであつた相な▲牛に寶丹は恐らく醫界の珍談中の珍談だらう▲講義の上手で學生間に受けの好い中村進午博士曰く▲今度の戰爭に依つて國際法は無價値なりと斷定する者もあるやうだが▲然らば七歲の少女は女房とするに足らぬとかつて其咽喉を縊つて了へば其少女の前途は失くなる▲恰度其と同樣に國際法は未成品なんだから其丈け前途に望みが多い譯だ▲とは相變らず面白い

府議會ノ諮問ヲ經朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル條例左ノ通定ム
大正七年十月十六日
京城府尹 金谷充
京城府條例第六號
證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル條例
第一條 [illegible]
第二條 [illegible]
第三條 [illegible]
第四條 [illegible]
本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
京城府條例第七號
京城府金庫出納事務取扱條例中左ノ通改正ス
[illegible]

第十三條中「現金ノ出納ヲ登記シ」ヲ「現金及證券ノ出納ヲ登記シ」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ
[illegible]
附 則
本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第三號、第四號、第五號、第六號樣式（略）

購買
朝鮮總督府遞信局
競爭入札
一、二百磅鋼線類外
詳細十月廿四日ノ本府官報ニ在リ
朝鮮總督府遞信局

物品賣却一部取消
一第一號 古制服類
一本月三十日賣却入札執行ス
一右部ニ候處都合ニヨリ取消候也
但其他古鐵屑類空罐類旅客遺失品ハ同日入札執行可致候
大正七年十月廿三日
南滿洲鐵道株式會社
京城管理局

急告
時下秋冷の候各位益々御清榮奉賀候陳ば門下木材の缺乏は建築界に甚しき打撃を與へ各位の御迷惑少からざる事と存申候此の際弊店は平素の御愛顧に酬ゆる爲め各原產地と聯絡を取り一切の木材を最も迅速に且つ最も廉價に御用命を奉じ得らるゝ樣致し居り候に付何卒倍舊の御愛顧を賜り度偏に御願申上候 敬白
大正七年十月
天龍木材株式會社
中央セメント株式會社 特約店
鴨綠江產紅松、杉、松 建築用材
木材商 野本商店
元町旭町三丁目（電話三二一番）
店主 野本清太郎

平和來と株式 買進むべき好機會！
近來の暴落を示したり、然れども其は講和の喧傳は、過敏なる株界を恐怖せしめ、遂に漸く冷靜に入りし昨今の人心は最も研究し注意し機先を制すべき時機なるを思はしむ講和既に決せんとするが平和の秋は遠からんとするが徒らに恐怖して其の機を逸するは遺憾なく遊資家の前に提供せられ、戰時平時の流行株を問はず切に其の投資を待ちつゝあり、乞ふ之れが時機の一勝に後れざらん事を望む
廿三日相場先物大引
鐘淵紡績（七割）二三七、〇〇〇
同 新株（同）一二五、九〇〇
大阪商船（六割）一八九、七〇〇
同 新株（同）一三八、〇〇〇
日本郵船（五割）一八六、〇〇〇
同 新株（同）一〇二、〇〇〇
大阪株式（堂島）一七三、〇〇〇
同 新株（同）一四八、八〇〇
公債株式現物問屋
新田耕市商店
京城櫻井町一丁目 電話長五七・一八八〇番

輸出殘品見切鉛筆
八百本入大箱四圓
市價一本二錢以上の品にして鉛筆用上毫も支障なき事を保證す
〇送料實費〇代金引換廿錢増〇品物昔意に不叶時は返品應じ申候〇此際百箱限注文者に美術品を呈す〇見本希望の方は〇金の多少により相當の品を送る
東京下谷仲徒町廿八 安田商店

自神洋行
鐵材 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘
新田帶革總代理店（物價表御一報次第無代進呈）
ペイント、油類一切 コークス、セメント 耐火煉瓦、モルタル スコツプ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品其他
京城

旅行具專門 岩田鞄店
京城本町二丁目（電話五九四番）

ハカリ印のヘブリン丸が
かぜねつの最良藥として專ら賞用さるゝは配劑の妙を極め其効顯る的確なるに因る

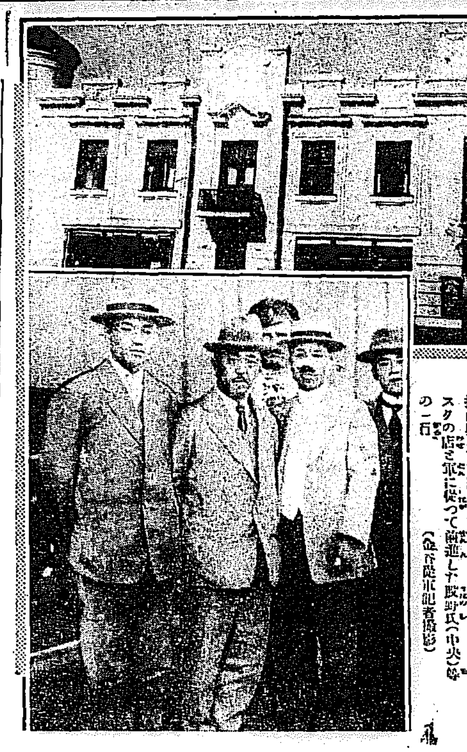
◎後貝加爾州の鑛業 つて千九百十一年の調査に依れば百八十九ヶ所の採金所に六千の工…所有のタラバガタイ炭鑛會社後貝加爾鐵道チェルノーフスキ驛附近…れて未だ著手されて居ないのが多い此外銀鐵鉛銅硫黄雲母水晶ア…內至る所鑛泉に富み著名なるものみにて三百ヶ所に及んで居る本…

演習に參加すべき羅南各部隊の將卒は臨時を吉州に出で向咸興第十…台千三百餘名の將卒は當日城津に宿營し臨溟湖方面へ進發する豫定…毎に鞭振りて能ふ限り提供すべく既に其の振り合も定まり居れど軍…購入乃至搬送の便宜を與へ薬菓の接待等に至る迄今より遺憾なから…

◎輕鐵車輛新製 朝鮮輕便鐵道株式會社にては來る三十一…

◎日露貨幣換算率 …西鐵道にては本月十九日より…

[illegible]之等に因つて[illegible]しては頗る盛で居るがキルチンスキ郡[illegible]多く
隣である目下採鑛に着手し得て居るのは僅に採金及び採炭の二者のみに過ぎず企業は比較的盛んである
チチンスキ郡バガジンスキ郡之に次ぐ石炭はタラバガタイ邑を去る七露里の地にあるチチコーフ氏
[illegible]せられ主として[illegible]貝加爾湖沿岸に供給して居る戰前一箇年産額は約千二百萬布度内外に過ぎずして金鑛炭鑛共未發見のものは元より發見さ
[illegible]の鑛石も[illegible]山系及びヤーブロノーウィ山系中に産し殊に鐵はペートロフスキザラード驛附近一帶は豐富にて且つ州地の



く朝鮮銀行の活動

西比利亞出兵と共に朝鮮銀行は沿海州、後貝加爾方面に軍票引換を開始した而も同行には從前の安東支店長の中に派遣隊として露國通の設野賞之氏をはじめ東支店の[illegible]が來た。これ等の人々はそれ〴〵重大な任務を帶びてゐる。烏蘇里方面ではスパスカヤはじめハバロフスク市等で盛に活動してゐる、軍票と露貨との交換は奥地で百圓對五百留の割、寫眞はハバロフスクの店と軍に從つて前進した設野氏(中央)等の一行(金谷隨軍記者撮影)

○西伯利は……大きな饅頭だ
一皮剝いて過激派を掃蕩し盡したと思ふと大間違　餡は果して何人の口に入ろ?
從軍記者　早川磐溪

西伯利には日本軍を始めとして反過激派軍が充ち滿ちて、何處へ行つても軍人が風を切つて歩いて居る一寸見た處では普通民よりも之等軍人の方が多いやうにさへ思はれる程だから一時偏を利かした赤衞軍や獨墺俘虜の殘黨が暗中飛躍をしやうとは、今の處考へられない秩序は恢復し、民は北堵に靖んじ先づ革命以來始めて平穩に復したと言ひたいが、其處が

◇亂世の悲しさ　濱の眞砂の盡きるとも盜人の種は盡きまじく又西伯利に過激派の種は盡きまじく西伯利を我物顏に振ひたがる、豪傑や、陰謀家の政權、兵權の爭奪が絕ない以上、何時平和が破れて、硝煙彈雨の巷と化るか解らない、過激派は今こそ涙を吞んで姿を匿してゐるが、決して露の如く消へて失くなつた譯ではない、否寧ろ都會に棲む中產階級、智識階級を除く、下級社會や農民の大多數は今猶過激派に同情を有つて居て機會さへあれば

◇又再び過激派の勢力を守り立て財產も自由もない自身等の利益を保護しやうとして居る、數百年の間階級制度の下敷になつて悶ゑてゐた、專制政治の鎖に縛られて苦しんでゐた、貧乏組織の缺陥の犧牲者となつて居た、彼等大多數がレーニン一派から、ウオッカ以上に強烈な、醉ひ易い、誘惑され易い、マルキシズムと言ふ毒酒を吞まされたのだからヘベレケに醉拂つて了ふのは當然で露國民の思想の奥に過激派の思想が根強く喰ひ込んでゐて到底離れないのも又無理もない事である、或露國通が聯合國の出兵に依り

◇饅頭の上皮を一枚剝ぎ取つた此から中身の處分だと言つたが、西伯利から饅頭の皮を剝ぐが如く過激派を全く掃滅し得たと思つたら大間違ひ、鼠は猫の姿を見れば畏縮して姿を晦ます、これは鼠の自衞上餘儀ない手段で、若し猫を飼つてるから鼠が全然居らないものと油斷をしたら飛んだ事になる、殊に西伯利は大きな饅頭であれ荒家である、皮を剝くにも鼠を退治るにも容易でない、表面なり、形の上に於てなり、征服し得たとしても、其の内部に潜む思想を奈何せんやである、某國の如きは初め

◇其點に着眼して如才なく過激派に諒解を與へ、握手もし、援助もして居たそれが聯合與國と共に共同出兵となつてからは手も切つたが、兵を動かしても決して彼等の御機嫌を損ねるやうな事はしない、我國では露國民を塗炭の苦しみから救濟する目的で出兵したのだから過激派も反過激派も一視同仁である筈、反過激派に立派な理想なり主義なりがある如く、過激派にも立派な理想もあり主義がある以上過激派が露國民の福祉を破壞し人道の敵たらぬ以上、之に對して徹頭徹尾

◇敵本主義を取るやうな愚策は取らぬは勿論である、現に日本軍では過激派軍を捕虜にしても、自ら手を下さずセミヨノフ軍なり、チェック軍なりに渡して露西亞人の處分は露西亞人の手に依つて自ら行はしめて居るから例へ過激派と雖も日本軍を恐れはするが、憎みはしない筈である。然り『筈で』ある、が併し彼等とて日本の出兵は到底快く思ひたくも思はれない『筈で』あるので、日本國の『筈』と過激派の『筈』は二本の軌條の如く何處に行つても一致しない筈である此の點が日本の

◇政府も國民も共に愼重に研究せねばならぬ處で、將來西伯利に於て日本の勢力を築き上げ且つ過激派の思想に影響された大多數の國民と提携して行く上にはどうしても一般の消息に深い理解を持つて居らねばならぬ、今後の西伯利は過激派思想を一大暗流とし、其上に起倒常ない、政治的野心家がいろ〱な芝居を打つので、其間に處して甲にも乙にも八方美人主義を振り撒き西伯利を團子の如く丸める事は、到底六ヶ敷いが

◇形勢の轉移や思想の波の動き方を見て巧に人心を收攬して行く國が此の尨大な西伯利の巧妙な調理人たり得るのである

口天長節拜賀
◇觀兵式より還幸後

來る三十一日は天長節祝日に付天皇陛下には午前代々木野練兵場に於ける觀兵式へ行幸還幸の上午後二時より大勳位親任官以下勳一等及び國務大臣禮遇午後二時半より高等官一等以下勅任待遇伯子男爵及び有位華族の拜賀を受けさせられ又午前九時より正午十二時迄及午後三時より同五時迄勳二等以下勳八等神佛各宗教管長門跡寺院住職の參賀を受けさせらる由

○蘭屋殺しの情婦　忠信の秘密(十一)
きく子に離緣の宣告
正しく忠信と云ふ女は毒婦である氣の毒なのは都野川の妻女である
病室で藤八拳と云ふ騷ぎ

七回の注射　都野川は忠信を介抱しながら妻女を怒鳴つた

劇しい胃痙攣の爲めに危なく絶えようとした忠信の生命は前後七回に亘る注射の力によつて取止められた。駈け込んで來た都野川も言ひ爭つて居た妻女きく子も茫然として暫時はその騷ぎの中に立ちつくして居た。然し忠信の容態が稍平靜に復すると更に悲痛な色彩を加へた場面が展開されることになつた。都野川は忠信を抱いて其床に據げられたる哀れな妻に涙を落さんばかりに打守つて居たが、それよりもつと虐げられた哀れな自分の妻を睨み付け打のめさんばかりな恐ろしい見幕で叱りつけた

室外へ放逐　忠信は都野川の腕に凭れて妻女の離緣を迫る

妻女は一言二言彼れに歸宅を勸めて見たが却つて怒りを買つて突き飛ばされるやうにして室外に逐ひ出された。そして彼女は泣きもわせぬ悲痛な心持ちを抱いて、スゴ〱と家に歸つた。忠信は都野川の腕に凭れて泣いたり怒つたりして妻女きく子を罵つた。都野川は宥めすかし乍ら『眞實にお前には濟まない。そのかはりには乾度彼女を叩き出し立派に緣を切つて見せるよ』

『今日にでも逐ひ出したらいいわ』

『今度こそは誰が何と云つたつて叩き出すから堪忍してくれ……』

離緣の宣告　都野川の亂行益々募りつゝ尼にならうとした妻女

都野川は堅く此の事を女と誓つた。都野川は果して妻女きく子に離緣の宣告をした。然しそれが爲めに彼は同胞や友人から包圍攻撃を受け多くの友人は彼に絕交を申遂つたものさへあつた。それが爲め彼は家に歸るのが億劫になつて益々外泊するやうになつた。一方妻女きく子は一生尼になつて暮す決心で此事を或る友人に相談に行つたが、極力反對を受け『それほど貞節を守る決心ならば如何に虐遇されても我慢して時節到來を待つがよろしい、都野川も必ず近い中に後悔する時が來る』と諭されて髮を切ることだけは思ひ止り、義兄や嫂などと協力して家業を勵んで居たが一日として泣かぬ日はない位であつた。

此の慘虐!!!　忠信は時々電話を以て妻女の家出を强請した

都野川は時々自宅に歸つて見ると矢張り妻が居るので其足でフイと出掛けて了ふ。そして誰が何と云つても滅多に歸つて來なかつた。或時などは忠信から直接にきく子に對して電話が掛つて來ることがあつた。

『奥さん、まだあなたは都野川さんの家に居るのね、離緣されたらサッサと出て行くがいゝぢやないの、隨分な恥知らずだわ―後にはね、わたしが奥さんになることに極つてるから、早く出てもらはなければ困りますよ……』

こんなことまで電話で言つて來た

寢乍藤八拳　都野川と丸尾は一緒に江戸川に飲みに行つた

一方病院の方は忠信の容態が輕快になるに伴れ益々陽氣になつた。時々都野川と丸尾は顏を合せて居たが病の中では無敵であつても表面は懇意な風に見ゐた。そして二人一緒に料亭江戸川に行つて飲んだりすることが度々あつた。病室では忠信も一緒に酒を飲んだり唄を謳つたりするが、どうかすると忠信は寢乍ら藤八拳を打つこと云ふ陽氣なこともあつた。

○安東の招魂祭
參拜者多し
安東軍人分會の主催となり廿三日午前九時より表忠碑前にて秋季招魂祭を執行遺族を始め文武官一般市民等多數の參拜ありたり(安東特電)

○文展の特選發表
白瀧金山兩畫伯は新に推薦
文展特選は二十二日夜左の通り發表され洋畫白瀧幾之助金山平三兩氏は新に推薦せられたり(東京特電)

▲日本畫(五名)　『山科の宿』松岡映丘(東京)△『落梅』西山翠嶂(京都)△『熱國研春』石崎光瑤(東京)△『御室の朝』蔦谷龍岬(東京)△『四季花鳥』池上秀畝

▲西洋畫(八名)　『花下行人』片多徳郎△『二人の肖像』清水良雄△『麥こく農婦』牧野虎雄△『七面鳥を飼ふ人』田邊至△『夏の日』高間惣七△『こけ』大久保作次郎『晴曉』嚴崎精趣△『上總の海』多々羅義雄

▲彫刻(五名)　『老人』堀進二△『敗殘』齋藤素巖△『饒そうち』池田勇八△『地上にある詩』長谷川榮作△『光』北村正信

○南大門驛の三等待合室が廣くなる
▼小荷物扱所も改造

南大門驛にては旅客の增加に伴ない從來の待合所は狹隘を感ずるに至りたるより今回之を擴張する事となり目下工事中なるが聞く處に依れば右は從來の喫茶店を驛講話室に移し其跡を改造して一二等待合室に充て一二等待合室の跡と小荷物室の一部都合廿四坪を新に三等待合室に加ふる計畫なりと然れば三等待合室は可成廣きものとなるべく尚は從來の小荷物取扱所は取扱上不便勘からざるより待合室の模樣替と同時に之又多少の模樣替をなす事となり受附口を四間とし局線扱と連帶扱とを區別する由なれば竣工の曉は非常に便利となるべし右工事は本月末を以て全部竣工の豫定なりと

○[illegible]と城津
▲在郷軍人の斡旋

近く吉州平野を中心として驚天動地の一大活劇を演ぜんとする機動[illegible]を終了して二十三日城津に出で同日乘船すべく宿營行軍の疲勞を休め更に翌二十四日の未明には西湖津より乘船せる約八百餘名の大部隊が來城し都

▲官民有志者及び在郷軍人分會員は先日來屢會合して協議を重ね宿舍の割當に就ては戶[illegible]なるが[illegible]在郷軍人分會員は[illegible]の關係上之れが中心となりて斡旋の衝に當り

▲宿舍の斡旋　軍需品の[illegible]に當る[illegible]一月二日演習を終はつて歸城の際は分會員手を分けて臨溟へ出向き萬般に亘り便宜を與ふる筈(城津)

[illegible]にて過般車輛及び車輛五十輛の[illegible]に當る[illegible]工を滿鐵京城管理局に委託せしが本月二十五日には竣成すべしと

出征軍人家族　慰問記(一)
うら悲しい秋風が吹いて、[illegible]と落る落葉の音にも[illegible]ゆく沖雁の啼く聲にも[illegible]ほする今日此頃ひそかに思ひを西伯利の空に馳せつゝ光輝ある凱旋の日を指折り數へて待つ出征勇士の家族を慰問せんと思ひ立ち毛布を纏つて西に東に(一記者)

▼眞黑になつて働く健氣な女

[illegible]町一丁目百十四番地に[illegible]君の留守宅を訪ふ、[illegible]半君の留守宅を訪ふ、恰度三歳ばかりの女の子が、まだお祭氣分の去り遣らぬ町中で嬉々として戯れて居る他處の兒等を

◆美まし相に眺めながら驛汁をす〻つて居る主人の出征後、家業の餅菓子を纖弱い女の細腕で續けて行く女主人は髪も無造作に、赤ん坊を背に負ふて二人の男を勵ましつゝ、忙しさうに立働いて居る。近所の人の話では家計は餘り面白くないらしいがその苦しい中で五ッを頭に

◆二人の子を守り立てつ、夫の留守を引受けて行く心の内は偕て何うあらう、薄暗い土間に立つた彼女の顏は流石に曇りを帶びては居るが然しまた何處かに張りつめた女心の輝きも見ゑて健氣にもあり哀しくもある、刺を通じて來意を告ぐれば同女は前掛で手を拭き〱『まあ、御親切に有難う御座います、斯うして皆樣の御親切に勵まされて

◆心を引立て引立てして働いては居りますもの、何を云つても女の事お恥かしい事で御座います』と思はず感激の涙がこぼれて來ます『ほんの一寸お陰樣で一週間ばかり前に參りました夫の手紙には、無事で消光

◆野戰病院の方に務めて居ると御座いました、何分子供がみんな斯う小さいもので御座いますから、お祭だと云へば他所のお子さん方と同じやうに遊んで遊び度がります、無理もないとは思ひますが氣に添はないで怒りつける事も御座います』背の赤ん坊が何か

◆火の付くやうに泣き出した下手早く下して乳を啣ます、二人の子供が左右から『何か頂戴……』と取りすがるオ、可愛相に記者も何となく涙ぐましい氣持になつて『切角お大切に……』と辭して出た、外では何の太鼓か賑やかに鳴響いて居る。

○久保局長退職　京城管理局長久保要藏氏は目下風邪の爲引籠り中にて辭職尚未定なりと

○遞信局女雇員採用　遞信局遞信事務にて今回初めて採用する事となりし[illegible]金岸の『雇員』は二十二日第一回[illegible]名を採用したり

讀者文藝(一等には五十[illegible])
▲下句附『つれづれに』
つれづれに昔の戀を出して見る(一等)　仁川本町四丁目　下部支店方　花翁生
▲菊花に題す一何哉　平北　逸民
▲ざる非同士が無中なり　仁川　苦論歩
▲十七字丈け並べて見　清江の里　隆女
▲陣で相撲の勝ち軍　京城　神童
▲思ひ出してはホロリとし　仁川　凸ちやん
▲禁酒を破る寒い晩　仁川　浪子

演藝
▲黄金館　二十四日より映畫全部差替は天活自慢の傑作たる新派大悲劇『泣かぬ女』探偵活劇『めぐれる階段』喜劇『文珠九助』等を映寫すべし▲有樂館　[illegible]怪奇を極めつゝあり▲大正館　探偵活劇『灰色の悪魔』は巻を重ぬるに好評嘖々二十五日より映畫全部差替ゆる筈なり▲浪花館　ダイヤモンド雪子一行の浪花節にて開演中

記
清酒　百七十七石
右賣却ス詳細ハ十月二十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府中央試驗所

特作特撰
大井一派活躍　新派大悲劇　泣かぬ女　四巻
探偵活劇　めぐれる階段　五巻
新任　岡田天城　明說
幕末義民　史劇　文珠九助　三巻
十月二十四日より
黄金館

美味滋養の葡萄酒
赤玉ポートワイン を召上れ
赤玉ポートワインは……　朝夕の一杯は百藥にも優り消化を助け食慾を增進せしむ。
赤玉ポートワインは……　胃腸を害しやすい秋口に欠かしてならぬ美味滋養の葡萄酒です。
赤玉ポートワインは……　七大醫學博士が賞讃と證明された葡萄酒で健胃補血、興奮、滋養強壯の効著大です

悪性の流行性感冒全鮮を襲ふ!!
益々蔓延の兆あり……此際
カゼピリンの試驗時季
鵜の眼鷹の眼探偵の眼で探してもさすがに一點もアラの無いのが東京淺野のカゼピリン
ホントーに面白い程よくきく
カゼピリン
鮮滿無量の特約店に販賣す
淺野のカゼピリンと指名を乞ふ

アナタが眞の健康を望まるゝならば
先づ第一
治疾丸
百毒下し
梅毒瘡毒ホつけ一切に良く効く……
服用して根本的に身体の病毒を驅逐せられよ!!!
四日市市赤堀　本舗　加藤翠松堂　振替　東京三〇四五　大阪一七九五

母と子（二）

北島春石作　森田久畫

背暗（二）

『叱！詰まらないことをお言ひでない。』と、女は鋭く叱り付けた。

――喜保子はわづか三尺とは離れないが、黒塀と潜戸に附いた扉との間に挾まれてゐるので、その聲は聞きながらも、背暗のうちに男女の顔は見透かされなかつたが、女は自分が罵倒されたあとで、此岸上家の後妻に直り、幸枝がお母さんと呼ばなければならないお蘂

男はその姓を呼ばれたので、自分が常日頃から惡魔のやうに怖れてゐる佐久間鎌造と知つた。

その佐久間鎌造は、今年九つになる幸枝が生れぬ前から――つまり、自分が始めて岸上家へ縁付いた當時からの知り合で、見かけは天晴な紳士氣取りだが、その邪曲な太々しい根性も見拔いたれば、實家へ戻つた後、何彼と親切らしく尋ねてくれるが、曾て唯の一度も笑顔を見せた例がないけれど、ふつと洩らした今の一言で、始めて秘密の鍵を攫んだ紊惇は……夢にしても餘りに怖ろしく醜さを極めてゐる。

お蘂から手酷しく窘められて、鎌造は幾分か酔も醒め心地、憮然とばかり頸を竦めたらしいが、自分の親類内には犬の子一匹見當らぬので、又しても羽目を外した嗤笑ひ。

『あッは・・・・』そんなにボン／＼叱つてくれるな。今でこそ綺麗さつぱり――とまでは行かないが、まあ他前だけでも無地な交際をしてゐるんだ。なあ、可愛い女房を他人の玩弄にさせて泣く男心を察したら、少しは憐れにも思つてくれ。』

『あんまり女房を可愛がりもしない癖に……わたしが淺間しい行爲をしてるのも、みんなお前さんの意氣地がなければこそさ。それを忌々しいと思つたら、一日も早くわたしや燕を引取つてくれたが好いのに。』

『解つたよ！解つた、解つた。』と鎌造は三度までも重ねて總解した『何と怨まれても申し譯がない。俺が意氣地なしばかりで、お前に燕を押し付けて逃げもした。その後こゝの後妻として乘り込んだところで、爪の垢ほどの不服も持込めた義理ぢやない。』と、さうは萬々承知はすれど『あれから三年の間、可厭にネチ／＼とお睦まじい樣子を見せつけられると、切れた草鞋を捨たより寝覺が悪いからなあ。』

『だから、手切れのお金も三度五度、今月だつて散々飮み倒された上、血の出るやうな五百圓を捩り奪られたぢやないかね。』

『だから、別によりを戻せと野暮を言はずに引揚げるんだ。』

『それなら些つとも早く……もう旦那のお歸宅に間もないから。』

お蘂から無暗と急き立てられて鎌造は夢我夢中で潜戸の外へ踏み出でだが、まだ未練滿々。

『へん！まことにお樂み樣だ。』

『何ですつて？』

『まあ、何でもいゝア。』と、鬼かれもの、小唄と云ふ格『精々旦那樣をお大事にあそばせか！』これ、俺はこれから蝸牛の宿へ戻り、膝を抱擁に昔なつかしの夢でも見よう。』

『ほゝほ・・・さう云ふお前さんこそ、未だ昔の惡癖がやまないらしいね。』と、お蘂も負けじと言ひ返す。

痴話か口說か、何方からとも知れち廻つて、兩人は忙しく囁き交した後。

『おや、その約束を間違へてくれるな。』

『お前さんこそ兎れると怨むよ。』

『大丈夫！いいさなつては逃げを打たせんぞ。』

『緊いね！今こそ別れ／＼になつてゐるもの、可愛い子まで生した夫婦仲ぢやないか。』

『ふゝん！巧く誤魔化したものだ。』

と塀越間、鎌造の囁きが背暗のうちを遠ざかると、潜戸は元の通りに鎖された。

喉に狹い檻から放たれたやう、喜保子が吻と吹息み吐く間もあらず

『おや!!幸枝、お前はいつの間にこゝへ來てゐたんだね。』と、庭内から棘々しいお蘂の命切聲。

血!!

人體の活動素　血液に就ては

▽――如何なる注意……必要か！

◎肺結核　から起る喀血は常に言ふ通り世人の怖れる程に絕望的ものではない、餘事ではあるが、肺結核で一番恐ろしいのは、熱の高い症状です、是れは混合傳染と云つて、色々の黴菌があるので、毎日朝は低く、夕には卅九度前後にも昇ると云ふやうなものが最も悪いのである

◎肺ヂストマ　是れも喀血する、但し是れは傳染性ではなく寄生蟲に冒されるので、往々にして結核と誤られるのである

◎クロツプ性　肺炎ら喀血することがあるが是れは肺結核で起つた爲では決してないのである

◎代償性喀血　と云ふのがある、是れは喀血したからと云つて醫師が診察しても何處にも故障を認めない、鼻血も其一種である、婦人に或場合そんなことがある

◎吐血は　肺からでなく胃から血を吐くのを言ふので、胃潰瘍胃癌、アルコールの急性中毒等から來る總て胃から吐き出された血は、多くは汚い恰も珈琲の殘滓のやうなもの且つ胃液も混じつて居る又血液は腸からも排泄さる、ことがある、譬へば其出血が口からでなくても、略人間のからだの中に量を定められてある、それを無理に無くし

◎貧血　を來すと云ふやうなことは捨て、置いてはならないことである、赤痢や腸大腸加答兒の急性の病氣に於ける時は別として不當痔疾のある人就中洗痔に惱む人は往々出血をする、セッて困の悪い出血は直腸癌である、其外胃潰瘍、胃癌等であつて

◎其血　は汚いのが多いが時には必ずしも然うとは限らないのであるから何れにしても出血すると云ふまでの状態を來した際は假令其出血に苦痛は伴はなくても早く醫師の診察を受けなければならぬ、然醫師の來るまでの手當ては何う心得たら宜しからむかと云ふに第一の條件は、喀血であると吐血であると、或は又腸から

◎出血　するのであるとに拘はらず、絕對の安靜を保つことである、次には素人には何の原因で何處から出る血であるかが、分らないにしても、先づ心臟肺臟の在る胸部を氷嚢で冷すのは大切な手段である、或は腸から排泄さるならば、下腹に

◎氷罨　法を施し食鹽水をコツプに一杯でも飮ませるやうにしなければならない、其後の手當ては、總て醫師の命令に服從して決して素人療治に一時を胡魔化して置いてはならぬ（某醫學博士談）

感冒患者の御口に合ひます
登錄商標 のかき が出ました
横山兄弟商會營業部
京城旭町一丁目　玄武堂

スワン石鹼

奮ひ戰へ!!

我數萬の鯨波喊聲をあげ。
秋草咲ける西伯利亞の野に。
自由と人道の爲め戰ひつゝある如く。
我等も亦最善の努力を盡し。
絕對純潔にして而も價格低廉なる。
スワン石鹼を諸君に提供しつゝあり。
ア、奮ひ戰へ!
兵士は自由と人道の爲め!
我等は善良なる製品の
提供を爲し得る爲に!!

製造元
日本リーバーブラザース株式會社

讀者の領分

悼目池亡妻　小野蕪子
草むらにくれ殘る草ありにけり
◎　靜軒
人皆々通夜に濕りてうたて秋

◆貴紙十七日朝刊に滿鮮生の投書にて傳染病者の近所歩きを[illegible]その地方あり小店も迷惑を蒙り居る一人として[illegible]病名は肺ヂストマの喀[illegible]取締令により飲食店料理屋等の營業者に對し使用人の徵傭なり人寄りの[illegible]嚴達せられある折柄なるに本病人一時なりとも[illegible]すさは言語道斷なり社が調査を以て病毒を傳播せ[illegible]の樣取締りを受くる方法はなきものにや

書畫用　純畫絹
京染吳服商　たきや出張所
京城永樂町二ノ一九

[illegible]れの御祈示を願ひ[illegible]（前略）▲[illegible]の小說[illegible]終結のよし[illegible]紙上にて拜見[illegible]入りました[illegible]しました[illegible]一冊にまとめて御發賣になりますや是非御發賣を願ます[illegible]待つてなります（第二編坂本山三十八內　皮李田芳波）▲[illegible]

牛乳　朝鮮成歡牧場
御用　京城東四軒町　岡野牧場　電話一〇六九

◎羽[illegible]資本金[illegible]五十萬圓[illegible]四分の一拂込[illegible]

最新刊

書名	著者	定價	送料
日本一の時事年鑑		一、五	〇〇
日蓮聖人御遺文全集	故加藤文雅	三、五	〇〇
肝補心理と人生	高島	一、二〇	〇八
憲法講義	美濃部達吉	一、五〇	〇八
生理と病理	系左近	一、〇〇	〇六
發見	牛乃誕	一、三〇	〇六
新化學講義	山川件	二、〇〇	一八
珠算集成	石橋吉	二、〇〇	一二
縮刷漱石文集	故夏目漱石	一、〇〇	〇六
日本語言史	伊藤	一、〇〇	〇六
金と銀	谷崎	一、五〇	〇八
路前	田	一、〇〇	〇八
ダンテ神曲		一、六〇	〇八
滑稽お伽旅行	藤川	八五	〇八
共同海損論	勝山	一、三〇	〇八
參考漢文新釋	吉川秀雄	一、五〇	〇八
福引全集		三〇	〇八

大阪屋號　電話一六八四番　振替京城二五七番

五十嵐村上唯吉共著　商の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢
[illegible]代理部

◎急告
全鮮を襲へる流行性感冒と
飛んで賣れ行く……
AG三分計體溫器▼

株式會社　東京　竹內計器製作所製

御用先
大學病院
赤十字病院
陸軍病院
傳染病研究所
東京衛生課

優美サックス入　定價壹圓五十錢　送料鮮內十二錢　外三十錢
農商務省示度標準計に依る檢定證及年令別下肢體溫表添付
滿鮮總代理店　パイン萬年筆製作所　朝鮮京城府太平通り
滿鮮一手販賣元　合資會社　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番電話特內十三

朝鮮總督府鑛務課御調査
最新刊
最新朝鮮地質鑛產圖
◆◆◆縱二尺四寸○橫一尺四寸○七色刷○印刷鮮明○校正嚴密○用程表記載◆◆◆
定價金八十錢　郵稅金十四錢
發賣　京城日報代理部

好評の實用的事務用　金ペン付
パインジビネスペン
定價壹圓九拾五錢
京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

健康と無病を欲する人々は
實行なさい!
美味芳香にして藥の氣味は勿論苦味なく最新の體育保全補血營養の強壯料
最高滋養　フェロール を召す事
いかな病身な方も强壯となる

醫家適應　本劑は各病症に依り下記の專門藥四種あり……
適應
グアヤコールフェロール　呼吸器病、肺病
アルゼンフェロール　胃病者及皮膚病者
沃度フェロール　發育不全腺病體質
フェロール　一般強壯補血

定價　フェロール　大壹圓八拾錢　小壹圓貳拾錢
グアヤコール　大參圓五拾錢　小貳圓
沃度　アルゼン　大貳圓參拾錢　小壹圓五拾錢

大阪市東區道修町二丁目
藥劑師　小西久兵衛
振替大阪九一九　電話本五〇四　五七三

◎獨軍戰線崩壞

▲リ塞拋棄　西部戰線に於ける獨軍の作戰如何はリール要塞[illegible]りて二樣の觀察を下す餘地ありしが今や獨軍は同要塞を全く拋棄し遁に東方に撤退せし從つて同方面[illegible]エ・ヌ兩河間の突出部附近に在りし友軍の退却を容易ならしむる爲一種の援護運動を試みつゝありし[illegible]と云ふ從つて北ぶ海岸地方の敵は既に國境(白和)方面に引上げを了し又オアーズ流域エーヌ流域の敵も亦々東方に退却中なるを以て[illegible]なく浮腰となりて退却中なるを以て到底近く停止の餘裕なかるべく故に最近の戰勢は獨軍の退却に屆して聯合軍[illegible]し殆ど損害を蒙ることなくし撤退せる模様なるを以て尠くもアントワープ、リエージ、メッツの線附近に後退せば恐らく停止して新抵[illegible]が講ずるやも知れず要するに獨軍は今後何れの地點まで退却すべきやは目下豫測を許さずと（メッツ）

◎貢收納注意　慶尙北道

[illegible]すに從つて耕作者は雨を待つて收穫に着手せんとしつゝあるが例年十月十日前後に於し降霜を見たるに本年は著しく遲延して十九日降[illegible]

仁川期米

二十三日後場　大阪前止め二十四圓〇二錢後寄末米當地は中限出來不申先二十七圓

[illegible]

下關期米

[illegible]